

平成7年度

NO. 41



Yasui

# 部報

北大馬術部

# 馬術部賛歌

滝沢南海雄君作曲

♩ 80

はる きたれ ば だい ち ひか ーる、

しろがね の えんざん ゆめ ほうほう たり、

たか ら かに いま ぞ いな け、 われ

ら しゅん め の ほま ーれ あり。

あ る ー か ぎり。 ほく だい ほく だい、 お

お わ が ほうこう、 われら しゅんめ の ほまれ あり。

## 馬術部賛歌

(昭和三十五年頃)

三浦清一郎君作歌

一

春来たれば 大地光る  
銀の遠山 夢花々たり  
高らかに 今ぞ嘶け！  
われら駿馬のはまれあり

二

時来たれば 旗をかざせ  
青雲の旅路に 意気軒昂たり  
高らかに 今ぞ嘶け！  
われら駿馬のはまれあり

三

雲流れて 旅路遙か  
青春の孤杖 泥濘ははめど  
凜然と 進みて行かむ  
駿馬のはまれあるかぎり

北大！ 北大！ お、我が母校  
われら駿馬のはまれあり



〈4年目〉 左から 後列 鶴見兄、河合姉、保坂姉、溝井兄  
前列 鏑木兄、谷地姉、米家姉

## 目 次

現役とOBの最適の関係	市川 瑞彦	1
前主将から	鎗木 照夫	3
現在のクラブ状況		
主務から	北村 薫	5
馬匹から	中田 一紀	6
会計から		7
95年度戦績報告		8
調教報告と馬匹紹介		
北 玲		19
北 駿	鎗木 照夫	20
明日 檜	谷地 織	22
ファスト パン		25
北 凌	鎗木 照夫	26
北 旋 風	鎗木 照夫	28
フライト	河合 由枝	30
北 帝	松原 貴史	34
北 祥		37
北 獅	溝井 敦史	38
新馬紹介		
ビコーエオン	池田 智義	40
エアークラッシュ		41
北銀号雌厩報告		42
北銀号の雌厩にあたって	高野 薫	43
北銀号の主な戦績		44
OB会だより	陣川 雅樹	48
卒部にあたって		50
自己、他己紹介		53
OB名簿		65

編集後記

## 現役とOBの“最適の”関係

部長 市川 瑞彦

部長になって2年が過ぎましたが、この間いろいろ考えさせられることがありました。その一つに“現役とOBの総体として馬術部という有機体を考えたときに、その機能が最大限に発揮されるためには現役とOBはどのような関係がいいのか”という問題があります。部長の立場の特徴の一つは、現役とOBの両方が見える位置にいるということでしょう。そのような立場から少し感じたことを述べたいと思います。

あらためていうまでもなく、学生の運動部の特徴は、毎年新しい部員が入り、最上級生が去っていくということです。これはまったく“否応無しに”で、もう少しいてくれたらなあと思うこともしばしばです。現役部員は、このような流れの中で、毎日の活動を通じて馬術部の新しい歴史を現に拓きつつある主体であるという点で、最も強力な権限と責任をもつ存在ではあることは論をまたないでしょう。しかし、“たった”4年でOBとなり過去への鎖に連なっていく点では、現役部員もOBと決して違い存在ではあり得ないのですが、彼らにとっては毎日が、あるいは今シーズンが全てであって、卒業後どこか2年先のことまでですらゆっくり考えているゆとりをもつのは難しく、長期的な問題に冷静な目をもつことが困難だという側面があります。この意味で、やむを得ないこととはいえ、現役は“その日暮ら似的”体質をもっていると思います。ときとして、この体質がネガティブフィードバックしてその構造的欠陥を露呈することにもなります。

一方OBとはといえば、個人により時によりむらはあるものの、長いスパンで馬術部を考えられる（考えている）という特徴があります。この意味で、“持続的”体質をもっていると思います。この特質の差が、時としてコミュニケーション・ギャップを引き起こし、特にOB諸兄には欲求不満をもたらしたり、歯がゆい思いをされたりすることがあると思うのですが、いかがでしょうか。例えば、あれだけ言ったのにまたもとに戻った、一向に進歩がみられない、大事なことが引き継がれていない、などなど。このような点には、その原因が“その日暮ら似的、つぎはぎ的体質”にも由来するものと、御寛容をいただき、言っても仕方がないとあきらめずに、粘り強くくり返し批判と指導をお願いしたいと思います。反面、長期的スパンの問題に対しては、もっと強い発言・助言が必要と思われます。例えば、失われてしまっているよい伝統、練習の体系・方法、緊養自馬の年齢構成、その出し入れのタイミングの判断、長期的財政的運営に関する意見、などなどです。一方現役諸君には、自分達で何でもできる（できた）と思いつくことなく、歴史の流れの中にいるという広い視野と自覚をもって対処する姿勢が求められるでしょう。現役もOBもよい戦績をあげ、有意義な部生活を送るということに関しては、まったく希望が一致しているわけですから、何とか“最適の関係”を見出していきたいものです。北大のOB

は、現役に選慮をしているという声も耳にしますが、どういう関係が最適なのかは難しい問題と思います。要するに、北大のOB・現役にとっての最適関係を構築する意外にはないでしょう。このような点から、OB諸兄弟のご支援をお願い申し上げます。

(96.5.7)

今年は、高齢化した主戦馬、若い準主戦馬、競馬場から入れた即戦馬で全日を目指した。結果は権利一つということで、何も強いことは言えないのだが、この一年の人馬の調教について述べる。

とにかく、全頭総合にできることを目標にしている、少し障害に対する能力の高い馬は、二走もできるという感じでおおまかに考えてきた。そこで総合にできるために必要なことは、調教審査、3課目レベルのフラットワーク、野外の人馬の馴致、L級レベルの障害の経路をかえってくることの3つを考えた。一つの項目づつ、行ってきたことを具体的にいうと、馬場運動については、古馬は人馬の折合、人のフラットワークの技術の上達、馬体管理を考え、若い馬、競馬学校から来た馬は、とにかくはみを受けさせて、詰め伸ばしの練習をした。そして詰め伸ばしが出来た上で、3課目にある項目、調教審査にある項目をこなしていくという段階でやった。全体的に見ての問題点は、人の技術が少し足りないということで、その他の馬の調教などは、順調に行えたと思う。

次に野外の人馬の馴致について述べると、必要な事は、馬と人の自信だと考え、簡単なひろいとびから始めた。具体的には、野外を回ったことのある古馬は、馬にはさほど問題はないので、拾い飛びで人に自信をつけ、農場のステイプル→ノーザンのステイプル→畜大のステイプルという段階でやった。若い馬、競馬学校から来た馬は、とにかく拾い飛びを多くやった。始めは、古馬の後に付けてやり、絶対に飛べると思った後で一頭で飛ばせた。それでも難しい馬は、野外のコースを何回も散歩させること、いろいろなところへ人を前に歩かせていくこと、変なものをまたがせることから始めた。ステップとしてはやはり、農場ステイプル→ノーザン→畜大の順で行い、畜大には2回（古馬は1回）いった。畜大のステイプルは、一回目は拾い飛びで終わらせ、人馬ともに自信を持たせた。2回めも拾い飛びからやり、次に2～3個ずつやって、最後に経路を回った。難しそうな馬は、経路を回るときも、飛ぶ馬の後につけた。全体を通していうと、全馬野外の馴致はうまくいったと思う。今年は野外での一反は、致命傷となったし、これからもそうだと思うので、来年も同じような馴致は必要だと思う。

最後に余力についていうと、とにかくどんな障害でも飛ぶ馬を作ることがすべてであると考えた。北大での練習としてやったことは、いろいろなものをどんなところでも、またぐ、とぶことである。これは畜大の練習を参考にしたもので、放棄手綱でも向けたら飛ぶ、飛んだらエサを与えるということを繰り返した。これによって、速歩、駈歩でも練習中に障害で止まる馬はほとんど見られなくなった。常歩飛越の他は、コンビネーションを中心に言い、駈歩飛越は最小限に押さえた。コンビネーションは、馬のリズムと、人の練習のため、最後のオクサーに物をいれて、物の馴致もやった。ここでの問題点は、人の随伴、特にオクサーでのがまんがたりないということである。他の馬場への馴致は、ノーザン、畜大でおこなった。他の馬場でのいろいろな障害の馴致は、まだ不十分であり、これが試

合での同一障害3反にもつながった。L級レベルの障害に関する問題点は、駈歩での経路を回ったことが不十分であったために、馬に強くでるポイントがつかめず、馬も人も緊張した状態のときに結果が出せないことである。練習や馴致では必ず飛ぶようになったので、これからは少し駈歩飛越を多くして、人の技術、テクニックの向上を図ればよいと思う。但し若い馬は、自信をなくすことが早いので、かならず飛べるレベルで行うことが大事である。

次に、これからやって欲しいことを、各学年ごとに述べる。まず一年生は、部員が少なく、馬が多いので大変だと思うが、上級生が少ないので馬を持つチャンスだから、練習を吸収することである。練習とは騎乗中に留まらず、下においているときも重要である。とにかく自分の付いた馬の練習について、運動の組立て、上級生のよい点、悪い点を考えてよい点を真似することである。また常歩で歩かせておく機会も多いと思うが、ただポーと乗っているのではなく、馬の動きについていくこと、それに合わせて脚を使うこと、それによって馬を踏み込ませるのを考えるようにする。これは馬の調教にもつながるのである。その他に障害練習として、あぶみにたち、どんな角度の前傾姿勢でも安定して、柔軟に乗れるようにすることなどもできる。とにかく無駄な時間を作らないことである。

次に二年生だが、自分の技術を上げることが第一である。とにかく春のシーズン前までに、馬と折合をつけ、フラットワークでは、速歩、駈歩ともに、つめ伸ばしが出来ること（もちろんハミを受けさせて）こと、障害では馬が一番飛びやすい速さを覚えること、障害前後で馬のじゃまをしないことである。冬の間は駈歩飛越が出来ないので（してはダメ）外乗で飛べそうなものはすべて飛ばせること、馬場でも常歩飛越を中心にして人の随伴の練習、馬の足上げの練習をする。冬の間、北日までの練習計画、馴致計画、試合計画をおおまかに立てることなどは必ずして欲しい。

最後に3年生だが、自馬に関しては2年生と同じで、他に全馬の調教計画をたてること、全部員の技術の向上を考えることである。馬の調教に関しては今年やってきたことの続きをやって欲しいと思う。人の技術の上達は一番の問題だが、他の団体のよい点で取り入れられるものはどんどんためて欲しいと思う。私の意見としては、部班をうまく取り入れて、いろいろな人を読んで号令をかけてもらうとよいと思う。OB、他団体との接し方であるが、仲良くしなければならぬ。合宿でいろいろなところにかかせて、他団体と輪を広げるのも手である。ここで合宿についていうと、下級生には必ずいかせるようにして、意見、感想をいわせるようにして、部の方針を決める参考にして欲しい。いろいろ述べたが、3年生にしっかり心得てもらいたいことをいうと、部は現役でやっていくものであり、基本的に全馬を現役で調教することが理想でOB、他団体の人は補助と考えることである。

最後になりましたが、私たちの代の時に馬場にいらして馬をみて、いろいろ問題点を指摘して下さった岡田さん、市川先生、宮浦さん、鷺田さん、八木さん、その他の方々どうもありがとうございました。これからも北大馬術部が強くなるよう御指導お願いします。

## 《主務より》

北村 薫

主務の仕事は、対外的にも対内的にも事務的なものがほとんどですが、要領良く考えてやらないと部の運営が成り立たなくなる重要なものだと思います。ごく事務的なもの以外は、なるべく最上級生全員で話し合っただけで決定し、下級生にも運営状況をわかりやすく伝えようと思いました。至らないところも多く、様々なかたに迷惑をおかけしましたが、これからもお気付きの点がございましたらご指導くださるようお願い致します。

### 学生部関係

学生部とは現在も友好的な関係を保つことができ、こちらが起こした事故も、誠意をもって正直に伝えるとすぐに対処してくれました。今年学生部にやっていただいたことは、危険性が高いとのことで従来の石炭ストーブが新しく石油ストーブになったこと、ガス湯沸かし器を取り替えてもらったこと、ポロ山の壁が新しくなり屋根と貯水池がついたこと、蹄洗台の溝が新しくなったことです。また、近年いわれていた馬場移転問題も、今年から本腰を入れてとりかかることになったらしく、学生部から言われて移転に関する具体的な要望を提出しました。移転先は農学部付属の北西の角にほぼ決定のようです。その際、馬場敷地内の設計をしていただいた、昭和41年卒の高野文彰氏には大変お世話になりました。学生部との話し合いには市川部長が大きく貢献してくださり、移転した際の厩舎及び馬場の面積や曳き馬の土地の確保などの最低限の条件のほか、今まで欲しいと思っていた設備（蹄洗台の温水シャワー、治療台、乾燥用D型倉庫など）を交渉していただき、いかにそれらが重要かを学生部の方にも理解していただきました。いくつ条件が通るか分かりませんが、これからも大学側、札幌市側とより慎重な交渉をしていく必要があります。移転の話し合いが進むにつれ、厩舎裏の排水が悪いなどの工事が必要な事態については学生部の協力が得られなくなって来ましたが、現時点での馬の生活に影響がないようにしたいと思います。

### アルバイト

現在も馬術部の収入は主に部員のアルバイトによるもので夏季は開催時の競馬場、モモセ、長岡さん、中曽根さんなどの牧場など、また年間をとおして競馬場の乗馬厩です。例年冬季に行っていた朝日新聞社は、掲載方式の変化によりなくなりましたが、単発バイトとしていれています。アルバイト先の方々からのご支援も数多くいただいております、これからもより良い信頼関係を保っていこうと思います。

### 道馬連、競技会関係

毎年主務はやるべきことが多く繁雑な仕事ですが、道馬連役員の方や近いOBの方々のご協力により大分やりやすく仕事も減ったように思います。それでもやることは多いので、下級生にも出来ることはなるべく分担し、自分は全体のすべてを把握しミスのないように努力しました。最上級生ならばいつでも当日の運営が出来るように、最上級生全員が大会について把握しておくことが必要だと思います。いつも手伝ってくださったOBの方々、本当にお世話になりました。この馬を借りて御礼申し上げます。

### 後援会関係

今年もOBの方々並びに特別後援会員の方々に多大なご支援をいただきありがとうございます。事務的な連絡で終わらず、OBとの良い関係をより近いものにするを目標としてきました。今年の豪雪による雪山の除雪をしてくださった加藤弘会長、相談に乗っていただいた小野忠氏、またことあるごとにさまざまなアドバイス、ご協力してくださったOBの方々には、本当に感謝しております。これからもなるべく頻繁に近況報告していきたいと思っておりますので、何かございましたらご指導お願い致します。

## 《馬匹から》

中田 一紀

現在の馬匹は12頭です。慢性的な疾患のある馬や高齢になった馬が多くなりました。特に明日檜や北玲、エアークラッシュはかなり運動管理が大変です。

運動管理だけでなく、普段の運動管理もとても重要なことです。何かあってから治療したり処置するのではなく、予防することが一番大事なことです。またどうしても自分の担当している馬ばかりに注意が行ってしまいますが、そうならないように気を配って欲しいと思います。

最近重要文化財の工事の関係で蹄洗場の水道が使えなかったり、パドックが閉鎖されたり、騒音によって馬がイライラするなどかなり環境的にはよくありません。こういう時ほど夕当に人が集まって、手入れやひき馬に頑張ってもらいたいと思います。

最後になりますが、馬匹の役割は人馬の環境を整えていくことです。そしてそれは競技で能力を発揮させることにつながっていきます。そのために一人一人の意識が高まっていけば最高です。いくつか大きなケガもありましたが、その度に下級生がしっかりとしてきたのを感じます。これから入ってくる新入生にもその経験を伝えていって欲しいと思います。

1995年 会計報告

収入		支出	
部費	377,000	飼料	1,308,265
アルバイト		装蹄	1,889,300
モモセ	603,350	薬品	2,262,985
J R A 乗馬廠	447,030	馬具・備品	176,467
J R A 開催	2,444,784	電話	157,231
朝日新聞社	504,300	輸送	828,853
その他	397,200	車両	823,931
企画・競技会		作業	12,757
半沢杯	313,279	文化	111,656
馬場大	268,716	後援会	284,618
公認	687,367	事務	21,142
秋季自馬大	459,678	登録	259,170
その他	178,606	試合	61,500
学馬連補助	1,515,000	その他	650,584
寄付	193,600		
その他	97,913		
計	8,487,823	計	6,848,459

## 95年度戦績

### ☆東北戦 (於 東北大学)

優勝 東北大学      準優勝 北海道大学  
 選手: 東北大学    中本 暁上 遠藤  
                  北海道大学 亀山 池田 北村

### ☆七大戰

優勝 東京大学      準優勝 東北大学      4位 北海道大学  
 最優秀選手 鈴木 正伸 (東京大学)  
 優秀選手 若野 博嗣 (京都大学)、吉田 聡子 (東京大学)

### ☆半沢杯 (於 北大)

《新人新馬》				1段階減点	2段階減点
1位	佐藤	マドンナ	北星乗馬クラブ	0	0
2位	大林	ワンダフルス	オパール-コミュニ	0	0
3位	三浦	メウクリク	北星乗馬クラブ	0	0
6位	溝井	北獅	北大(4)	0	0
10位	鍋木	北旋風	北大(4)	0	0
28位	村田	フライト	北大(3)	3	

《小障害》				1段階減点	2段階減点
1位	佐藤	インディ	JRA札幌競馬場	0	0
2位	植田	マドンナ	北星乗馬クラブ	0	0
31位	中田	ファスト	北大(3)	1.75	

《中障害》				1段階減点	2段階減点
1位	村上	マドンナ	北星乗馬クラブ	0	
2位	鈴木	チャレンジ-N01	オパール-コミュニ	0	
3位	島	パブリック	日高育成牧場	0	
12位	谷地	明日繪	北大(4)	8	
13位	松原	北凌	北大(OB)	14	

《複合》				馬場減点	障害減点
1位	道谷	緑天鳳	酪農大(4)	106 1/3	0
2位	加藤	緑狼	酪農大(4)	114 1/2	0
3位	加藤	スーパージョッジ	酪農大(4)	124 1/3	6
7位	中村	北銀	北大(3)	144 5/6	0
9位	鶴見	北凌	北大(4)	128 1/6	22.25
10位	米家	北玲	北大(4)	150 5/6	0

### 《3課目》

『1班』				得点	%
1位	鶴見	キョウワノーザン	札幌競馬場	395.5	57.3
2位	島	パブリック	日高育成牧場	395.0	57.2
3位	武田	サンテックス	函館競馬場	375.0	54.3
5位	中村	北銀	北大(3)	342.0	49.6
6位	鶴見	北凌	北大(4)	335.0	48.6
13位	米家	北玲	北大(4)	246.5	35.7

『2班』				得点	%
1位	佐藤	ヤマノライズ	札幌競馬場	392.0	56.8
2位	後藤	サクラプリンス	札幌乗馬会	357.0	51.7
3位	堀江	ロングシューマー	函館競馬場	350.0	50.7
10位	丸山	北凌	北大(3)	322.0	46.7
15位	河合	フライト	北大(4)	285.0	41.3

### ☆北海道馬場馬術大会 (於 ノーザンホースパーク)

#### 《2課目》

『A班』				得点	%
1位	黒田	サンダンス	ノーザンホースパーク	330.5	52.5
2位	細野	カトッパリエロー	メインフィルス	329.0	52.2
3位	新矢	童梨夢	駒ライディングファーム	320.0	50.8
5位	鏑木	北旋風	北大(4)	311.5	49.4
11位	溝井	北獅	北大(4)	290.0	46.0
13位	鶴見	北凌	北大(4)	282.5	44.8
15位	河合	フライト	北大(4)	273.5	43.4

『B班』				得点	%
1位	秋田	メディアストーム	ノーザンホースパーク	350.0	55.6
2位	村山	エアジョーダン	ノーザンホースパーク	348.5	55.3
3位	吉野	童梨夢	野村ライディングファーム	342.5	54.4
5位	谷地	北旋風	北大(4)	320.0	50.8
9位	中田	北獅	北大(3)	305.0	48.4
	北村	北凌	北大(3)	失権	

〈3課目〉

『A班』				得点	%
1位	中村	グラニット	ノーザンホースパーク	400.5	58.0
2位	瀬川	カットアップイエロー	メインフィールズ	391.5	56.7
3位	中村	エルツグラフ	ノーザンホースパーク	379.0	54.9
17位	中村	北銀	北大(3)	343.5	49.8
22位	米家	北玲	北大(4)	316.5	45.9

『B班』

1位	道谷	緑天鳳	酪農大(4)	377.0	54.6
2位	大村	緑炎	酪農大(OB)	362.5	52.5
3位	黒田	Mr.フランダース	ノーザンホースパーク	359.0	52.0
18位	鶴見	北凌	北大(4)	308.5	44.7
19位	河合	フライト	北大(4)	306.0	44.3

☆春季北海道自馬馬術大会 (於 ノーザンホースパーク)

〈3課目〉

『A班』				得点	%
1位	飯田	サンデーサービス	JRAH騎師	391.5	56.7
2位	宮竹	ダイヤモンドライフ	浦河高校	372.0	53.9
3位	永田	かみか	酪農大(3)	371.5	53.8
8位	籾木	北凌	北大(4)	349.5	50.7
10位	谷地	北旋風	北大(4)	341.5	49.5
12位	中村	北銀	北大(3)	335.5	48.6

『B班』				得点	%
1位	鈴木	マイクマイティ	オーバルホースコミュニティ	408.5	59.2
2位	大淵	アブサン	十勝柏友会	408.0	59.1
3位	黒田	サンダンス	ノーザンホースパーク	390.0	56.5
11位	米家	北玲	北大(4)	328.5	47.6
15位	亀山	北凌	北大(2)	286.5	41.5
16位	河合	フライト	北大(4)	279.0	40.4

『L級標準』				Time	減点	j.o. 経過	j.o. 順位
1位	坪内	マイフェアレディ	モモセRF	46.95	0	29.56	0
2位	鈴木	ワンダフルコース	オーバルホースコミュニティ	54.51	0	29.57	0
3位	堀川	ユウグレイ	メインフォーリーズ	52.08	0	31.94	0
18位	米家	北玲	北大(4)	76.30	7		
26位	中村	北銀	北大(3)	70.40	11		
	中田	ファストパロン	北大(3)		失権		
	籾木	北凌	北大(4)		失権		
	河合	フライト	北大(4)		失権		
	松原	北凌	北大(OB)		失権		

『特定L級(初心者部)』				Time	減点	j.o. Time	j.o. 順位
1位	西村	ダニー	ノーザンホースパーク	58.80	0	33.01	1
2位	今井	グラビス	日高ケンタッキーファーム	69.84	0	37.56	5
3位	中村	モチヨキ	ノーザンホースパーク	68.30	0	38.89	6
11位	籾木	北凌	北大(4)	110.66	17.75		
	中田	ファストパロン	北大(3)		失権		

『M級C標準』				Time	減点	j.o. Time	j.o. 順位
1位	浜田	勝皇	帯畜大(4)	75.94	0	34.69	0
2位	本巢	ワンフォーザロード	JRA日高競	65.32	0	35.67	0
3位	吉田	グラニット	ノーザンホースパーク	77.86	0	36.14	0
20位	谷地	明日楡	北大(4)	94.70	7		

『L級S&H』				経過Time	順位Time
1位	藤田	アブサン	十勝柏友会	57.11	61.11
2位	黒田	ダニー	ノーザンホースパーク	62.72	62.72
3位	黒田	マック	ノーザンホースパーク	63.26	63.26

14位	河合	フライト	北大(4)	70.04	74.04
21位	中村	北銀	北大(3)	72.87	80.87
26位	八木	ファストパン	北大(OB)	84.60	89.60
37位	八木	フライト	北大(OB)	122.75	173.75
	籾木	北凌	北大(4)	失権	
	籾木	北旋風	北大(4)	失権	
	米家	北玲	北大(4)	失権	

『M級CS&II』				Time	得点
1位	原	アナカイン	十勝柏友会	58.14	58.14
2位	村上	ミスジェニー	札幌乗馬クラブ	62.65	62.65
3位	吉田	グラニット	ノーザンホースパーク	63.39	63.39
13位	谷地	明日楡	北大(4)	73.96	73.96

『一般L級標準選手権』

				Time	歳	j.o.Time	j.o.歳
1位	萩野	スピリットソング	浦河乗馬クラブ	70.18	0	39.43	4
2位	鈴木	ワンダフルユース	オールドホースコミュニ	71.04	0	43.45	4
3位	大淵	テキーラ	十勝柏友会	74.79	0	40.71	8
5位	中村	北銀	北大(3)	74.22	4		

☆北日本学生馬術選手権(於 北里大学)

☆北日本女子学生馬術選手権(於 北里大学)

1位	安田	岩手大
2位	大野	岩手大

1位	遠藤	岩手大
2位	米家	北大(4)

☆北海道馬術大会(於 ノーザンホースパーク)

『3課目B班』				得点	%
1位	村上	ミスジェニー	札幌乗馬クラブ	384.0	55.7
2位	原	アナカイン	十勝柏友会	380.5	55.1
3位	瀬川	カットアップイエロー	メインフィールズ	379.5	55.0

10位 河合 フライト 北大(4) 327.0 47.4

『L級標準』				Time	減	j.o.Time	j.o.減
1位	越路	メイシャ	日高KF	58.93	0	33.68	0
2位	坪内	マイフェアデー	モモセRF	65.79	0	34.83	0
3位	中村	モチヨキ	ノーザンホースパーク	64.07	0	40.44	0
13位	八木	フライト	北大(OB)	63.71	4		
15位	河合	フライト	北大(OB)	66.09	4		
26位	鍋木	北凌	北大(4)	75.25	8		
28位	中田	ファストボーン	北大(3)	81.66	11.25		

『特定L級(新人新馬)』				Time	減	j.o.Time	j.o.減
1位	今井	クラビス	日高KF	70.68	0	37.19	0
2位	清水	ファズエンダー	酪農大	80.72	0	38.45	0
3位	東谷	ダイスタリット	ノーザンホースパーク	58.47	0	38.79	0
25位	谷地	北旋風	北大(4)	93.94	14.25		
28位	村田	北旋風	北大(3)	75.93	19		

『L級S&H』				起行Time	成績Time
1位	越路	メイシャ	日高KF	57.16	57.16
2位	坪内	マイフェアデー	モモセRF	62.28	62.28
3位	長屋	エルク	モモセRF	55.09	63.09
	河合	フライト	北大(4)	失権	

☆北日本学生馬術大会(於 帯広畜産大学)

『二回走行』				一走目	二走目	総減点
1位	河本	ブラックランパー	酪農大	0	0	0
2位	小館	雪銀	北里大	0	4	4
3位	山本	勝皇	帯畜大	0	4	4
4位	平井	柏楽	帯畜大	4	0	4
5位	広田	柏雲	帯畜大	4	4	8
6位	浜田	柏朱鷄	帯畜大	12	0	12
7位	山本	麗妃	福島大	4	9.25	13.25
8位	四宮	緑王	帯畜大	4	12	16
9位	鈴木	グレスカップ	東北大	8	12	20

10位	永田	緑鷹	酪農大	12	12	24
14位	鏑木	北獅	北大(4)	16	20	36
	鏑木	北凌	北大(4)	1分E	3分E	
	谷地	明日檜	北大(4)	8分E	8	
	中川	ファストハム	北大(3)	3分E	25.25	

『賞典馬場』

				総得点	%
1位	水上	アークトゥルス	東北大	948.0	49.9
2位	萩原	ザ・ヴェネツィス	岩手大	907.0	47.7

『総合』

				罰数減点	耐久減点	余力減点	総減点
1位	道谷	緑天鳳	酪農大	116.667	0	5	121.667
2位	加藤	緑狼	酪農大	124.333	3.2	5	132.533
3位	村中	柏霞	帯畜大	134.833	0	5	139.833
4位	浜田	かつりハーディー	帯畜大	131.0	0	10	141.0
5位	広田	柏雲	帯畜大	136.333	0	5	141.333
6位	四宮	緑王	酪農大	131.653	5.2	15	151.853
7位	阿部	かつりゴロー	帯畜大	138.0	0	15	153.0
8位	加藤	スーパーツキツツ	酪農大	121.333	28.4	10	159.733
9位	平井	柏楽	帯畜大	137.0	20	5	162
10位	溝井	北獅	北大(4)	138.333	12.8	15.0	166.133
11位	河本	フラックランパー	酪農大	145.333	32.8	0	178.133
13位	谷地	明日檜	北大(4)	143.667	44.4	0	188.067
17位	米家	北玲	北大(4)	150.667	67.6	16.25	234.517
	鶴見	北駿	北大(4)	150.333	失権		
	河合	フライト	北大(4)	144.167	失権		
	村田	北旋風	北大(3)	156.667	失権		
	中村	北銀	北大(3)	139.167	65.2	馬体失権	
	鏑木	北凌	北大(4)	136.667	101	3反失権	

☆秋季北海道自馬馬術大会

〈2課目〉

				得点	%
1位	島	マナサロワール	JRA日高育成	358.0	56.8
2位	村山	エアジョーダン	ノーザンホースパーク	345.5	54.8
3位	島	タイガーホーカイ	JRA日高育成	339.0	53.8

9位	北村	北玲	北大(2)	303.5	48.2
----	----	----	-------	-------	------

《3課目》

				得点	%
1位	鈴木	メイマディ	オールドスコム	390.0	56.5
2位	小林	柏明	帯畜大	382.0	55.4
3位	新矢	童梨夢	闘ライディングファーム	369.0	53.5
9位	亀山	北凌	北大(2)	352.0	51.0
16位	池田	北駿	北大(2)	339.0	49.1
18位	溝井	北獅	北大(2)	322.0	46.7

《S&H Lクラス》

				起Time	競Time
1位	コカ	柏神	モモセRF	81.07	81.07
2位	鈴木	アリエンバ	酪農大	84.87	84.87
3位	松井	マイフェアディ	モモセRF	86.09	86.09
13位	村田	北獅	北大(3)	103.65	130.65

《特定L級》

				Time	減点	j.o.Time	j.o.競
1位	真田	柏霞	帯畜大	63.90	0	50.35	0
2位	中田	フライト	北大(3)	74.58	0	55.40	0
3位	梅村	ドウクリク	闘ライディングクラブ	68.13	0	57.44	0
4位	北村	北玲	北大(2)	75.40	0	59.30	0
14位	松原	北帝	北大(OB)	75.98	12		
18位	黒崎	北帝	北大(OB)	79.94	15		

《標準L級》

				Time	減点	j.o.time	j.o.競
1位	コカ	柏神	モモセRF	66.38	0	44.16	0
2位	坪内	マイフェアディ	モモセRF	67.56	0	44.32	0
3位	天羽	ラレイ	闘ソウキファーム	77.21	0	46.54	0
4位	鶴見	北駿	北大(4)	68.41	0	50.43	0
12位	池田	北駿	北大(2)	70.82	4		
20位	中村	北旋風	北大(3)	67.74	8		
21位	松原	北凌	北大(OB)	69.17	8		
23位	谷地	北旋風	北大(4)	80.82	11		
25位	亀山	北凌	北大(2)	117.63	22.25		

《ジムカーナ》

出場人馬 谷口、乗次 (フライト) 小谷、浅野 (北凌)  
田中、角堂 (北旋風) 丸山 (北帝)

《M級C標準》				Time	減点	j.o.Time	j.o.減点
1位	高橋	チャレンジ・NO.1	オールホースコミュニ	70.12	0	44.52	0
2位	村上	メウクリカ	北星競馬クラブ	64.38	0	45.29	0
3位	村上	マドンナ	北星競馬クラブ	76.39	3		
5位	溝井	北獅	北大(4)	63.81	4		

☆第50回国民体育大会 北海道地区予選

《LクラスS&H》				走行Time	成績Time
1位	天羽	ラレイ	日高KF	71.61	71.61
2位	藤田	アブサン	十勝柏友会	62.75	72.75
3位	鈴木	ファインダー	酪農大	75.66	75.66
11位	鐘木	北凌	北大(4)	93.71	93.71
13位	亀山	北凌	北大(2)	95.82	100.82
16位	八木	北凌	北大(OB)	104.56	118.56

《L級標準》				Time	減点	j.o.Time	j.o.減点
1位	天羽	ラレイ	日高KF	83.95	0	39.01	0
2位	佐藤	ハマニフェロー	札幌競馬場	73.00	0	45.97	4
3位	藤田	アブサン	十勝柏友会	74.97	0	38.52	8
8位	池田	北駿	北大(2)	86.73	0.25		
9位	鶴見	北駿	北大(4)	73.68	4		
17位	八木	ファストバロン	北大(OB)	90.93	3.25		
20位	谷地	北旋風	北大(4)	95.22	15.5		
24位	中田	エアクラッシュ	北大(3)	93.72	17		
25位	八木	北凌	北大(OB)	112.46	17.75		
27位	村田	北旋風	北大(3)	99.39	22.5		
	鐘木	北凌	北大(4)	失権			

《3課目》				得点	%
1位	藤田	アブサン	十勝柏友会	415.5	60.2

2位	佐藤	キョウワノーザン	札幌競馬場	410.5	59.5
3位	大谷	アブサロム	剛毅クラブ	391.5	56.7
12位	村田	北旋風	北大(3)	296.0	42.9

☆山下杯

《ジムカーナ》

				Time	減点
1位	海川	スーパーチャップ	酪農大	76.2	0
2位	林	カミルカ	酪農大	78.6	0
3位	工藤	緑炎	酪農大	79.4	0
4位	寺坂	フライト	北大(1)	84.8	0
5位	角田	フライト	北大(1)	87.4	0
6位	中田	北祥	北大(3)	87.9	0
7位	内海	北凌	北大(1)	92.8	0
9位	百瀬	フライト	北大(1)	106.5	0
	高橋	北凌	北大(1)	失権	

《新人新馬》

				Time	減点
1位	丸山	北帝	北大(3)	91.7	0
2位	鶴見	北帝	北大(4)	84.6	0
3位	谷地	北祥	北大(4)	76.6	0
4位	中田	北祥	北大(3)	86.5	4
5位	松原	北帝	北大(OB)	85.2	4

《M級C》

				Time	減点	j.o.Time	j.o.減
1位	清水	フリスエンデバー	酪農大	80.7	0	50.4	3
2位	池田	北駿	北大(2)	69.3	0	38.2	4
3位	河本	フラックランパー	酪農大	81.6	0	38.4	4
6位	中村	明日楡	北大(3)	67.9	0	53.4	13
7位	鶴見	北駿	北大(4)	72.5	0	棄権	
8位	中村	北旋風	北大(3)	77.0	8		
9位	村田	エアークラッシュ	北大(3)	80.3	8		
11位	谷地	北旋風	北大(4)	84.6	8		
12位	中田	エアークラッシュ	北大(3)	102.2	9		

☆全日本学生馬術大会

《第45回賞典障害飛越競技(二回走行)》				一超點	二超點	総減点
1位	萩原	フェアフォーム	法政大	4	0	4
2位	刈谷	モーニングサイド	同志社大	4	4	8
3位	大岩	明姫	明治大	4	4	8

《第38回賞典馬場馬術競技》				総得点	%
1位	水町	桜銀	日本大	1056.5	60.37
2位	鈴木	スチール	日本大	1022.0	58.40
3位	森岡	明京	明治大	1005.5	57.46

《第38回賞典総合馬術競技》				難點	耐久點	効力點	総減点
1位	畠山	明優	明治大	103.666	0	0	103.666
2位	原田	白翔	中央大	99.000	0	5	104.000
3位	川俣	明澄	明治大	101.333	0	5	106.333
28位	溝井	北獅	北大(4)	136.750	4.40	30.25	171.400

## 北玲号 紹介



どうして”おぢょ”というのかって？もちろんそれは私がお嬢様だからよ。え？違うって？まあ一説によると私が北大に来たときはまだほんの小娘で、ちょこちょこしたおじょうちゃんだったからという話もあるけど。

月日のたつのは早いもので、うら若き乙女だった私も淑女の落ち着きを見につけ、北大一の古顔として厩舎の秩序作りに貢献しているわ。

基本は飼食時間の厳守ね。私の鋭い感性で会食時間を嗅ぎと理—いいえ察知し、よく通る声で他馬に知らせる。これが私の務め。

やっぱり食、住が生活の基本だし、食にはこだわりをもたなきゃね。注文を付けさせていただくと飼いに水を混ぜるのはナンセンスね。コナコナもいただけないわ。注文は多いけれど、私のほうとしてもマナーは守っているのよ。マナー—というのは、くるもの拒まずのココロ、趣味草はまずかろうが何であろうが必ず食べる。

まあ言いたいことはたくさんあるけれど今日のところはこれでおしまい。

## 北駿号



### 北駿号 調教報告

楠木 照夫

北駿には9月から7月初めまで騎乗した。といってもそのうち半分近くは常歩外乗と馬休で、調教したという感じはしないが、この10ヶ月間でやってきたこと、失敗したことを述べる。すべては古馬のチーフとしての最重要ポイントである馬体管理に失敗したことが始まりである。北駿は能力は高いが、人の技術がないと能力を出さない馬で、9月に乗り始めたときに、全然、乗りこなせなくて、すぐに折合をつけようと運動量を上げて、二週間で右肩を痛めてしまった。右肩は北日前に一回痛めたところで、完治していたと思ったが、軽率であった。この肩は、その後、破行が引いても運動量を少し上げたら、また痛めており、くせになっているので今後も十分気をつけたほうがよい。北駿の特徴をいうと、歩様は良く速歩がとくに反撞が高く、馬と折合が付かないと乗りづらい。また、ハミ受けは学生レベルでは少し高くてよいようで、騎座による推進、減脚は非常によい。その他には右が少し固いということと、人が気をぬくとすぐさぼるということ、非常に軟弱であるということなどがある。私が馬より上の立場で乗れるようになったのは、1月の半ば過ぎで、それまではひたすら自分の技術向上と馬の折合を考えて騎乗していたので、それ以降の事を述べる。

壁にぶつかったのは、横運動と伸長速歩でとにかく感覚をつかむために繰り返した。フ

ラットワークでは右が少し固く、これは障害の経路でも気になったので、多少右手前を多くして組み立てた。障害は、今まで連続物での反抗がおおかったので、間歩をいろいろ変えて週一回のペースでやり、その他に、コンビネーションも週一回のペースでやった。肩が少し悪いときは、バーやいろいろなものをまたがせることを繰り返した。4月終わり頃の半沢杯の経路まわりで、また肩を痛めてしまい、試合、馴致は行えなかった。前にもいったが、北駿は非常に軟弱な馬なので、馴致、試合での経験はないが、試合では、障害、馬場ともに推進力が必要で、特に馬場では重くなる馬をいかに動かすかということ、障害ではよれても障害まで持つていくことがポイントであろう。

最後に北駿で北日を勝つためにはどうすればよいか考えたので述べる。前提として馬より上の立場に立つこと、馬場では、常歩、駈歩、移行でアピールして、速歩は正確にやること。野外は苦手な障害（過去反抗しているもの）の馴致は必ずやって、経路は必ずまわり、人に自信をつけて、馬がちゅうちょしたときに、追い込むこと、馬場の障害は馬に気合をいれて、あとは人の推進力をつけておくことです。これがほぼ完全に出来れば必ず二走、総合とも全日にいけるはずです。ただ人の技術が劣る場合は総合のみにしたほうがよいと思います。ぜひ、北駿の能力を全日で見せて欲しいものです。

## 明日檜号



### 明日檜号調教報告

谷地 織

明日檜19才。高齢だがまだいける。最後の年を馬事公苑で締めくくろう、もう一度シケレペを東京で活躍させてやろう。我々の代でそう決めて、私とその役を担うことになった。しかし最後の試合、北日の二回走行は、これまでの試合の中で最も後悔の大きい、取り返しのつかないものに終わった。初めての、明日檜からの落馬。それは私自身の大きなミスであり、それまで共に練習に励み、支えてきてくれた部員の皆に謝っても償いきれるものではなかった。最後の最後で、気の引き締めが甘かった。馬も人間と同じように感情を持つ。怖いものはきちんと見ている。シケレペが止まるわけではないと信じ、そして実際に拒止されたときに対処しきれなかったのは、ひとえに騎手である私の実力不足と、精神の甘さが祟ったものである。いくら言っても言い訳にしかないないので、これから部で活躍していく後輩の皆に少しでも役に立てばと思い、四年間終えて最後に思うところを書かせていただく。

明日檜は、唯一牛とそれに準じた模様のものを除けば、障害を躊躇しない馬だった。後軀を大きく踏み込んで歩き、体を柔らかく使って、飛越の上手い馬だった。明日檜に馬配が決まったときから、馬の邪魔をするな、しっかり乗っていれば絶対に飛ぶんだから、と言われ続けてきた。しかし実際、馬は乗っている人間が何も作用せずに障害を飛越するわけではない。飛ばせるように騎手が指示するのである。普通馬は背中に乗っている人間の指示に従って動く。そのように調教していくのである。騎手の作用の仕方は、騎手と馬とでそれぞれに異なり、またその組み合

わせによって多様である。自分と馬との確固たる乗り方を頭と体で保持し、克服すべき課題については、指導をいただいた人の経験的表現を自分の血肉となるべくかみ砕いて吸収しなければならないのである。さもなければ、指導を受けるままにあっちへフラフラこっちへフラフラ、自分の乗り方は不安定になり、自信も喪失することとなる。私の場合は、初期の頃、精神的に馬に圧倒されていた。自分が変な乗り方をしてシケレペが飛ばなくなるのではないか、おかしな癖をつけてしまうのではないか、そんな心配ばかりして、まともな運動をしていなかった。差し障りのない、人馬共に“楽な”練習ばかりだったように思う。最近の現役部員の練習を見ているとそのことが覗える。大概の運動では、馬はそう簡単に壊れるものではない。

シーズンを迎え、北日まで約二ヵ月という頃、OBの水野さんに練習を見ていただく機会があった。その時ご指導いただいたのが、上記のような考え方の基礎となることである。「馬に乗せてもらっているわけではないので、常に自分の意志を理解しているのか否かを評価しながら鞍上に座ること。そしてヒト・馬共に現状で表現しうる最も困難な運動を実施すること。」具体的には、後退からの駆足発進や直径2-3m程度の駆足輪乗り、拳を全く使用しない回転運動等である。もちろんこれらの要求度の高い運動の最後には、馬体全体を進展させてリラックスを図らなければならない。私はこの時、いつもより短く持った手綱で、明日檜が通常より緊張した状態での駆足発進の困難さに愕然とした。この時やっ、自分のシケレペに対する確固たる乗り方が見えたように思う。北日の直前に、二回走行に向けてノーザンホースパークで行なった経路周りは、最高の出来だった。

重要なことは、少しでも早く自分自身の乗り方を習得することである。癖は誰にでもある。細かいことを気にしすぎて馬に作用できない段階に留まっていたら、何も始まらない。消極的に引込んでいては駄目である。馬を理解しようと常に心がけ、どんどん馬に働きかけていくことである。そうすれば自然と馬も反応を返してくれる。そこから自分と馬との乗り方が確立されていくのである。馬たちも私たちと同じように生きており、常々様々なことを感じているのだということを忘れてはならない。少しでも多く、少しでも長く、馬たちと接して欲しい。一瞬でも、愛馬たちと心が通じた時の喜びは大きい。そして馬と人との相互の理解が勝利に結びつくのである。

結局最後の北日は失敗に終わった。先に書いた通り、私の精神的な“詰めの甘さ”に起因するところが大きい。最大限予期できる状況への準備をするべきだった。絶対に大丈夫だと信じ込み、一走目前日のフレンドリーシップに出場しなかったことも後悔される。一生懸命考え行動し、皆で協力してやってきた。それでも私たちが最後の北日で勝てなかったのは、結局普段からのいろいろな行いが甘かったのだと思っている。

馬術部を引退して、当時は見えなかった様々なことが見えてきた。北大は“勝つ”という感覚

が分からなくなってきたと感じる。負けることに慣れてしまっている。勝つ喜びを後輩たちに教えられなかったことに責任を感じている。しかし私たちの失敗の原因を見つめ直して、現役部員は飛躍してほしい。これからの活躍を期待している。

調教報告とは言えないような内容になってしまったことをお許し下さい。私が四年間の活動を終えて最後に思ったことが、少しでも後輩の皆さんの参考になれば幸いです。私的な問題で部活を休まざるを得なかった時期、物理的にも精神的にも支えて下さった先輩方と、同期、後輩の皆さんに心から感謝致します。ご指導頂きました岡田監督、斎藤・市川両部長、OB諸兄弟に、この場を借りて御礼申し上げます。

私の怠惰で部報の発行を大変に遅らせてしまったことをお詫び申し上げます。また、昨年10月27日、酪農学園大学獣医学部の厩舎で大往生を遂げた明日檜号に、哀悼の意を捧げます。素晴らしい馬でした。9月に彼に会ったときは、体はしんどそうでしたが、オレ様はまだまだ元気だぞー、といわんばかり、精神はとても元気でした。たくさんの思い出をありがとう。

## ファストバロン号 紹介



バロンの紹介をします。とりあえず、バロンと言えば中田さんである。よく、バロン、バロンという中田さんの声が馬場中に響いている。バロンの事を尋ねると、何でも本当にうれしそうに答えてくれる。外乗と一緒にいっても、バロンがどんな馬なのか、今何を考えているかだとかわが子のように話してくれる。人馬一体と言う言葉を体言している人馬である。バロンはちょっとやんちゃである。時々、下級生を乗せて馬場を気持ち良く疾走している。そんなときでも、中田さんのバロンを呼ぶ声が馬場中をこだまする。手入れの時も、生半可な下級生では、手入れはできない。そんなときでも、中田さんに代われれば、おとなしく手入れされている。そんなとき、2人(?)の間に愛を感じる。そんなバロンであるけれども、能力的にはすばらしく、元オリンピック選手も認めている、将来を期待されている馬である。中田さんとのコンビで、きっと全日への権利を取ってくれると信じています。

## 北凌号



### 北凌号調教報告

鎬木 照夫

北凌には、鶴見が骨折した6月初めから乗り始めた。今まで乗っていた北駿、北旋風に比べるとかるい馬であるというのが印象的だった。また、北凌は潜在能力は高いが、まだ調教途中で、練習での内容が試合で生かされないのでどんどん乗りこまなくてはならない馬だと思った。今までの大きな問題点として、何かささいなことですぐきれるという点があり、ハミをうけたフラットワークをしていくことが一番先決だと思い、重点をおいてやった。このことは馬が素直であるということもあって、順調に出来、7月中ごろには調教審査レベルはきちんとこなせるようになった。ただし障害においては馬が切れて突っ走ることにはなくなったものの、いろいろな問題が残っているといえる。ハミを受けているときは間歩はあうのだが、一端踏切が狂うとリズムが崩れること、物見が激しく、珍しいものは素直に飛ばないこと、経路中は左手前をよくだし、なかなか回転で手前を変えず詰めることが出来ないことなどがある。特に試合で馬が緊張しているとき、これらの事がよくでたようだ。障害においてよくやったことは、リズムをつけるコンビネーション、苦手意識のある連続障害派手な障害、変な障害などの常歩飛越駈歩で回転をいれた手前だしの練習などです。常歩飛越は90cm位までならすぐに落ちて飛ぶようになり、人がじゃまをしなければどんな物でもすなりと飛んだ。コンビネーションも同じで、じゃまをしなけ

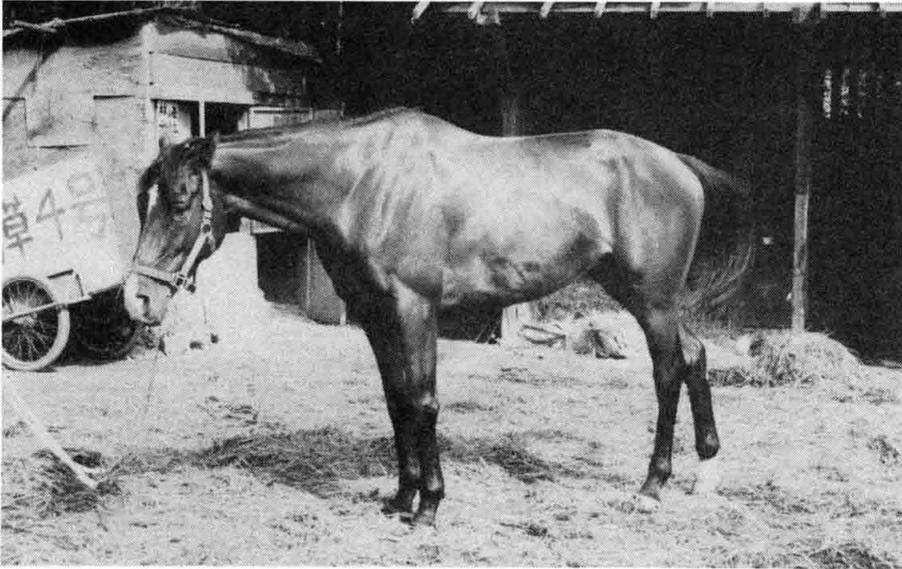
れば問題なかった。連続障害はいきなりやるとだめで、低い単一の駈歩からやっていったら問題はなかったようだ。駈歩の手前を出す練習は、ラチをつかってはできるが、広いところでやると思った手前がうまく出ずにあきらめてしまった。

次に、馴致についていうと、馴致は、ノーザンと畜大へ行った。馬場でのフラットワークは、問題はほとんどなく、スティーブルもひろい飛びからやれば特異なもの以外はすんなりと飛んだ。この二つのスティーブルで問題となったのは、L字、斜めバーの連続（最終）、坂を下りながらのオクサーぐらいで、L字はなくなったし、他の二つは飛ばせているので気をつければ問題はないだろう。スティーブルでは、馬は人に頼ってくるので馬場での障害より飛ばせやすいようだ。次に馬場での障害だが、めずらしい障害は躊躇した。また連続障害も注意しないと反抗されることがある。ただ、ノーザンには馬は慣れているのでさほど問題はなかった。

最後に試合についてである。馬場ではそこそこの成績がだせたが、障害は、まったくダメだった。自馬大では馬との折り合いはほぼほしていたが水の入ったりバブルがあり、試合中は、まったくとばなかった。公認こそまますの成績だったが、北日の二走ではトリプルで3反、余力では馬がまったく飛ぶ気がなく何でもない障害で3反してしまい、すぐあとの道体では経路が難しかったこともあるが、折り合いもつかず、3反している。一番の問題点は、馬が緊張して人のいうことを聞かない状態となっていることで、その次が、馬を強引にでも障害前に持っていくパワーとテクニックが人になかったことだと思う。物見に関しては、まだ若い馬なので馴致を繰り返す様にしていかなくてはならず、気長にやるしかないと思う。（ちなみに、水の入ったりバブルは馴致で飛ぶようになり、その後の試合では問題なかった。）

最後にこれからチーフにつく人へやってもらいたいことを言う。馬場と野外に関してはさほどないが、馬場ではフラットワークもきっちりこなし、野外は人馬共に馴致を繰り返すことだけである。障害に関しては、馬体に異常がなく、下が良いときは週に3回ぐらいやってよく、コンビネーションを中心に、いろいろなものの馴致をやり、フラットワークがよくなったらどんどん経路をまわって欲しい。また、馴致にはいろいろなところにいき、いろいろなものを飛ばせて欲しい北凌が全日で活躍する日が早くくることを願っています。

## 北旋風号



### 北旋風号 調教報告

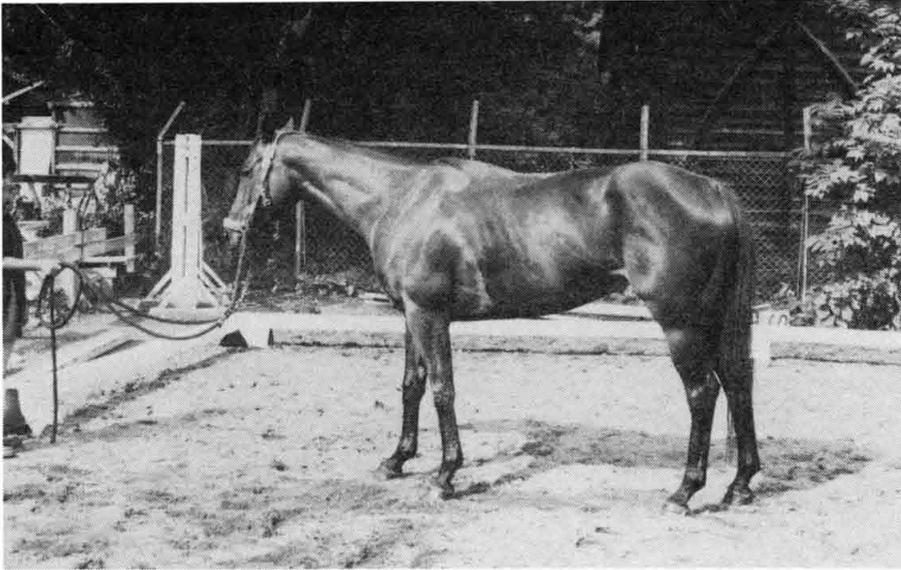
鏑木 照夫

北旋風は保坂が下について、谷地が乗っていくはずだったが北駿が故障したため、私が1月末から7月中ごろまで主に騎乗し、谷地と保坂と3人で調教した。北旋風は6歳と若い体が固く、私たちの代になって、離厩も考えた馬だったが、シーズンにはいってからはコンスタントによい成績を納めていて、練習でやったことがそのまま試合でだせる非常に素直な馬で、これから主戦馬としてきたいしてよい馬である。乗り始めたときはとにかく固くて、ハミをうけさせられなく、現役では乗っていけないのではないかと思っていた。しかし、2月ごろから調馬索を増やし、サイドレーンを使用してから段々動きもよくなってきて、ハミもとるようになってきた。このころから3か月間くらいのあいだ、しばしば宮浦さんに馬場まで来てもらって調教のやり方を教えてもらった。サイドレーンも宮浦さんの意見によるもので、私は北旋風は宮浦さんに救われたといっても過言でなくらい感謝しています。軌道に乗ってからは順調で、障害、馬場ともに十分練習でやってきた力を出せたと思う。また野外の馴致も今年からやったのだが、二回目に畜大にいったときは、他の馬の後に着けたものの、経路を一反で帰ってくるほどになった。これからも無理してはいけませんが、どんどん乗り込んで、北日で権利をとる確実な馬に仕上げたいです。

最後に、私のフラットワークのもって行き方について述べる。まず、速歩、駈歩で長手

綱で馬場一杯に使い大きく動かす。次に、常歩で体をほぐすために、ハミをうけさせていろいろな細かい運動をする。そして、速歩よりやりやすい駈歩で、ハミをとって回転をおおくした。詰め伸ばしの運動、次に速歩での詰め伸ばしの運動で仕上げです。

## フライト号



### フライト号調教報告

河合 由枝

帯広の野外コース、2番、乾燥飛び上がり障害。フライトは飛ばなかった。私は飛ばせることができなかった。その瞬間、私の4年間は終わった。あんなに馴致したのに。あんなに頑張ってきたのに。いろいろな思いがこみ上げて涙が止まらなかった。馬を下りたとき、馬つきの下級生と一緒に泣いてくれた。私は彼の涙を忘れない。

代が変わってすぐに私はフライトに騎乗することになりました。前年、北瑛に騎乗していたため、自分は障害に不慣れで障害は馬から教えてもらうことばかりでした。馬場馬での経験を生かしてフライトのハミ受けを良くしたいと思っていました。フライトの第一印象はばたばたした馬だけど元気そうだなという感じでした。

障害の練習は主にコンビネーションを使って行いました。間歩はほとんど変えず、踏み切りとリズムを大事に考えて飛びました。自分は鎧にしっかりと乗ること、拳は下手にゆずらず一定の場所においておくこと、前を向いて飛ぶこと、最後のオクサー障害ではついていくことそんな基本的なことを念頭に置いて練習をしました。フラットワークは最悪でした。馬は頭を上げてばたばたするか、あせてちょこちょこ小股で走るかに入った感じでした。乗り変わってすぐのシーズン終わりの方の試合では踏み切りがあわないと私が遅れたりのめったりしてフライトの邪魔ばかりしていました。特に連続障害ではA障害で必ず詰まってしまう、自分はバランスを崩し

たままB障害に向かいフライトが勝手に障害を飛ぶといった感じでした。本当にフライトに助けられる一方で私はといえば邪魔をしてばかりでした。今思えば、その時は私の推進力が弱く飛越に切れがなくフライトも飛びにくそうでした。騎座での推進、そんな良く聞く言葉を実感する頃でした。

冬場は障害の練習としては、無理のない高さのコンビネーションを繰り返し、自分の障害上での安定と飛越のきれ、リズムの良い飛越をめざしました。フラットワークではしっかり推進してハミもしっかりと持てるように努力しました。しかし、拳の強さと脚の強さがうまく釣り合わずにたいていは推進不足で前がきつくなりフライトは頭をふって、私はハミを強く持てずに途方に暮れていました。

ハミについては最初はゴムハミを使用していましたが、力が上手く伝わらないような気がして水勒ハミに変えました。フライトは口が敏感なので普通よりまるく太い水勒を使用することにしました。このタイプの水勒がみつからず結局ももせの宮浦さんから頂くことになりました。ハミを変え、拳をもっともっと敏感にしようと思いました。

普段のフライトとのつきあい方では、絶対に許してはいけないことに対しては厳しくしかり、反対にちょっとでも良いことをしたり、言うとおりにした時にはしっかりと誉めてやるように心掛けました。このことは、下級生にもうるさく指導しました。そして、この様にして得られる信頼感は、馴致の際に大いに役に立ちました。フライトは、非常に臆病で初めて見たものには必ず警戒心を示しました。しかし、それがこわくないものだとして彼女自身が納得できれば、そのものに対する恐怖心が全く消え去り、問題がなくなります。だから、馴致は彼女の調教において欠くことができない事でした。恐がるものに対しては、まず自分が前を歩くなどして安心させながらゆっくりと近づけ、鼻でこわくないということを確認させました。

シーズンに入り、半澤杯では北大の馬場であることもあり、障害ではL級に出場しましたが、比較的良いペースで満点でゴールをきることができました。しかし、やる気のでたフライトに自分は乗っているだけといった感じでした。馬場では、フライトはばたばたし、自分はどうしてもなく経路をたどるのがやっとなんといった状態でした。

障害において馬を押し切れないという課題は残ったままでした。OBの八木兄に指導してもらい時には騎乗してもらいました。八木兄が騎乗したあとのフライトは動きが大きく自分が乗っているとときは全く違う動きをしていました。自分で運動するときもこの状態のフライトを目標に運動を行っていました。

自馬大のフレンドリーでは試合会場での適度な興奮状態が手伝って、フライトは勝手に飛んでいくような感じでした。私は障害に向けてやるだけでフライトは気持ちよく飛越していきました。しかし、まさに自分は何もしなかったのです。安心すると同時に油断が生まれていたのでしょう。そして、2日目、L級で同じように何もせずに向かった私はフライトが減速していくのにあせりましたが何もできずに苦手とするリバプールの前で3反抗してしまいました。フライトは飛ぶ気が無いように思えました。その時々馬の状態を感じてそれに応じて乗ることが私にはできていませんでした。3日目さすがに気合いを入れました。しっかりと馬を前に出して、障害前で馬を起こすこと、この時は自分とフライトの気合いが合ったように思えました。フライトはかなり気分屋なところがありました。フライトがやる気になっているときは障害にも向かっていくのですが、いまいち気合いが入ってないときなどは障害の直前で止まることも度々です。

た。自分はといえば、拳があがってきてフライトの飛越の邪魔をしてしまい、そのことが落下を招いたりしていました。さらに、馬の動きについていけず、飛越時に自分が遅れてフライトの首の邪魔をしないように手綱を投げてしまったりして、その後の誘導がうまくいかない等の問題がありました。

公認大会では、八木兄に一鞍目に出場してもらいました。6番障害のダブルの前でフライトは立ち止まり後ずさを繰り返して、さんざん反抗した後ようやく飛越、続く7番障害前でも一反抗した後、9番障害を落下してなんとかゴールを切りました。飛ぶ気のないときに立ち止まったり、後ずさをすることはフライトの特徴的な反抗の仕方でした。この後、自分が騎乗しましたが、先に八木兄がまわった経路なので、今度はやや躊躇したものの一落下で帰ってきました。一鞍目に如何にしてフライトを飛ばせるかが課題であると痛感しました。八木兄だったからゴールを切れたものの、自分であったら返せなかっただろうと思いました。こんな風にフライトにやる気がないと全く飛ばず、何かが吹っ切れると、別馬のように飛越するということがよくありました。また、ダブルやトリプルなどの連続障害が単一の障害よりも苦手なようでした。

このような傾向は、北日のフレンドリーでも顕著に現れました。最初、スタートした後、フライトはどんどん減速していき、次々と障害前で止まり、3反抗で失権しました。準備馬場で、八木兄に乗ってもらい、気合いを入れ直した後、次の走行では全く躊躇せず無反抗でゴールを着ることができました。

障害に関して言えば、馬を押せないとだめだと思います。いわゆる「推進」です。馬をしっかり前に出し、それを力強く起こしてこれること、それができなるときちんと経路を回れないし、いざ馬が反抗を示したときに対処ができず、そこで飛ばすことができないと結局、馬を甘やかに飛ばなくてもいいという判断をさせてしまうのではないのでしょうか。

逆をかえせば、馬が躊躇したときに騎手の力でしっかり飛ばせることができれば、馬の方にも自信を持たせて、飛べるようになるのではないのでしょうか。

北日では総合を狙うとしたため、畜大での馴致にいける限り行きました。スティープルはフライトにとってほとんど初体験だったため、かなり困難でした。苦手なものははっきりしていました。乾壕、飛び降り、それに水です。それから、かなりボリュームのある障害も苦手でした。乾壕は、北大の馬場にある小さなものから徐々に馴致を重ねましたが、一度飛んだことのある障害でも乾壕に関してはかなりの躊躇があるようでした。また、馬場では、青いビニルシートを用いてリバプールを作り、それを少しずつ広くして馴致を続けました。水は畜大の川に何度も入れ、できるだけならそうとしました。最後は他の馬について川に入れるようにはなりました。飛び降りる事には、いつもかなりの勇気が必要なようでした。追いむちで追ったり、なだめたり、怒ったりしていつも最後は突き落とすようにして落としていました。反対に、飛び上がりは得意なようでいつも自分からどんどんあがっていきました。今だから思うこととしては、フライトのように恐がりな馬にとっては野外走行は不向きであったかもしれず、やはりかなりの馴致と騎手の技術を必要とすると感じました。

フラットワークでは、拳を敏感にし、肘に余裕を持って拳を柔らかく馬についていかねばならないと常に思っていました。例えば速歩の時馬の頭は基本的には一定の位置を保ちますが、微妙に前後に動きます。この時、拳もその動きに合わせて微妙にゆずってやります。最初はその動きが馬と合わずに喧嘩になってしまいがちでしたが、すこしずつ合ってきたように感じられました。しかし、馬場の試合では馬はいつも以上に興奮し、自分はそんなフライトを押さえ込もうとして堅くなり、結果として喧嘩になってしまい、ばたばたした全くまとまりのない馬場を踏んでいました。また、停止も悪く最初に入場・敬礼の項目ですでに印象は最悪でした。審判さんの中には、その馬は馬場には向かないからやめた方がいいねとおっしゃる方もおられましたが、総合を狙う以上3課目程度の馬場は最低限踏める必要があり、大事なのはフラットワークの延長としてその程度の運動をきちんとできることだと考えていました。しかし、公認大会までの馬場(3課目)はいつもばたばたでいつも順位は最下位でした。

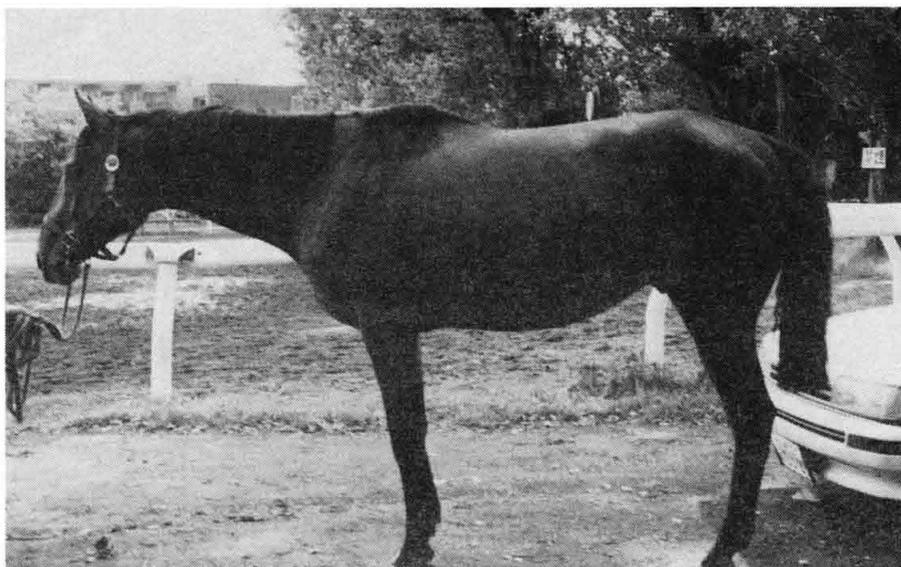
しかし、調教審査は今までで一番のできてした。フライトとはじめて息のあった馬場を踏めたような気がしました。フライトも私も気持ちよく経路をまわりました。なんだかうれしくて、経路をまわりながら思わずニコニコしてしまいました。後でビデオを見ても今までになく、ゆったりとした(普通の馬場のペースよりははるかに速いとは思いますが。)ペースで、フライトの肢の運びが全く違いました。駆歩もゆったりと大きく動くことができ、長い反対駆歩も上手く行えました。フライトの頭は相変わらず高かったけれど、とりあえずぶんぶんと首を振ることはありませんでした。

運動に関していえば、馬を体全体を使わせて大きくのびのびと動かしてやること。それを欠いては、良いハミ受けも細かい運動もできないのではないかと思います。

そして、耐久、迂回路を使ってタイムオーバーはやむを得ない、絶対に帰って来るぞとっていました。そして・・・

最後に。フライトに騎乗した1年間、多くの方々のご指導を頂き、また応援下さった先輩後輩の方々、本当にありがとうございました。朝、北大まで足を運んでいただきご指導下さいました岡田顧問、そして八木兄。いつも試合会場にてご指導下さった審判員の鎌田さん、宮浦さん。本当にありがとうございました。この場をおかりしてお礼申し上げます。私はなんら結果を残すことはできず、フライトの力を十分に発揮してやることができず彼女には良いパートナーになれなかったことを申し訳なく思っています。しかし、悔いはありません。彼女とともに過ごせた1年間とっても楽しかった、とてもがむしゃらにがんばって来ることができました。私たちの悔しい思いを感じた後輩達のこれから先の活躍を期待します。こんな、調教報告とは言い難い文章を長々と書いてしまいましたが、私がどんな風にフライトに乗ってきて、馬がどの様な状態であったか、そして何を考えてきたかが、少しでもわかってもらえると幸いです。

## 北帝号



### 北帝号調教報告

松原 貴史

北帝は5歳の夏に札幌競馬場から北大馬術部に入厩し、現役から依頼がありその年の冬から私が調教を行い、6歳の秋に競技会に出場しました。その約1年余りの間での、調教に関して、私自身の考えたことを以下に記します。

#### …調馬索…

馬がそっぱした時のことを考え、円馬場で行う。また、馬が輪線上を歩かずに内に入ってくるのを防ぐ手段として、鞭を用いるのではなく、初めは人が馬の横を一緒に歩く。最初、常歩のみで行う。常歩で輪線上を落ち着いたペースで歩くことができるまでは速歩をしない。次に、口笛で停止することを教える。そして速歩を行う。速歩、常歩、停止を声、口笛、舌鼓、鞭を効果的に用いることで、この3つの号令を馬に理解させ、同時に内方姿勢をとらせる。このことが完全に行えるようになってから、初めて駈歩を行う。駈歩は馬が焦りやすく、リズムを壊し、また手前を合わせるのが難しい。しかし、内方姿勢をとった運動ができれば、自ら走りやすい手前を理解し、落ち着いた正駈歩を行うようになる。また、この頃からシャンポンを併用すると良い。シャンポンの長さは初めから短くしない。シャンポンを用いることで、馬は頭を下げて運動をするようになる。結果、背中の筋肉の発達が可能になる。こうした毎日の調教により、駈歩、速歩、常歩、停止を調教者の指示通りに行うことができるようになる。

### …馬場運動…

シャンポンを用いて運動する。まず、停止の練習を行う。手綱に頼ることなく、埒に向け、口笛を使うことで停止を馬に理解させる。調馬索で口笛を理解していれば容易である。常歩、停止を輪乗りで行うことで内方姿勢をとらせる。これらのことがクリアできたら、速歩を行う。同様に内方姿勢を考え、運動を行う。また、単独脚を理解させるため前肢旋回、斜め横歩を行う。速歩、常歩、停止、前肢旋回、斜め横歩がスムーズに行えるようになったら、次に駈歩を行う。初めは手前を合わせることやゆっくりしたリズムで駈歩を行うことが難しいが、日々の練習で馬に理解させることができる。ハミ受けが安定し、馬が頭を下げて運動ができるようになったら、シャンポンを外すことを考える。また、頭を上げるようになったら、また、シャンポンを付けると良い。

### …障害飛越…

#### ・調馬索飛越

障害飛越では馬に道具を付けない方が良い。埒沿いにバーを置き、人を乗せずに調馬索を用いて、障害練習を行う。障害に対してアプローチと反対側で飛越する度に餌を与える。まず大切なのは、馬に障害物を越える喜びを教える。けっして調教者は焦ることなく、次に速歩で低い高さのクロスや単一障害で行う。現在の馬のレベルを考えながら、無理せずに障害の高さを上げて、反復練習を行う。この日々の反復練習により、最終的には90～100cmの高さがこなすことができる。調教全般に対して言えることだが、特に障害調教に関しては過度な要求をせず、長い月日をかけて馬に納得させながら行う。馬に障害に対する恐怖心を与えてしまったら取り返しのつかないことになる。

#### ・騎乗飛越

調馬索飛越により落ち着いたペースで馬が自信をもって飛越できるようになり、またある程度の馬場運動がこなせるようになったら、騎乗して障害飛越を始める。この場合、調馬索飛越に比べ、人が乗っているため馬にとって今までとバランスが異なる。従って、必ず低い確実なレベルで行い、飛越後、調馬索飛越と同様に、餌を与えて馬に喜びを教える。なるべく、自由手綱で行うと良い。そして、クロスや単一障害などの日々の反復練習により、落ち着いたリズムで飛越できるようになる。けっして、調教者は無理な要求をしてはならない。何度も繰り返すが、過度の要求により馬に恐怖心を与えたら終わりである。これらをクリアできたら、次に速歩でのコンビネーションの練習を始める。オーソドックスな間歩で今までの障害飛越と同様に、餌を与えながら反復練習を行う。低いレベルで馬に自信を持たせることが先決である。先程と同様に、自由手綱で行い、無理なく徐々にレベルを上げる。そして、次に物の飛越である。物の飛越に関してはかなり慎重に行った方が良い。具体的には、小さな物を古馬の後ろにつけて飛越させることから始めると良い。そして、安定してから1頭での飛越を行う。飛越はゆっくりした速歩で行い、飛越の度に馬に餌を与えることで、馬は自

ら飛越し、餌を貰う場所で停止するために、新馬によく見られる爆走は全くない。この日々の反復練習により、馬は次第に落ち着いて飛越できるようになるため、調教者は自由手綱で行うことができる。そして、馬のレベルを考えながら、ゆっくりした速歩で様々な物障害の飛越を行う。必ず無理矢理飛越させるのではなく、馬自身が納得して飛越することが大切である。これらのことがこなせるようになったら、コンビネーションに物を入れたりして、様々なパターンの障害を無理なく練習する。すべての障害練習を自由手綱で行うと良い。次に、乾壕や水壕の馴致を行う。これも先程の物障害と同様に、小さい乾壕や水たまりなどを古馬の後ろにつけることから始めると良い。小さいレベルでの反復練習により、馬が自信を持って乾壕を飛越したり、ためらうことなく水たまりに入るようになる。これらのことをこなせるようになって、駆歩での飛越を練習する。しかし、基本的に普段は速歩で飛越すると良い。駆歩での飛越が多くなると馬が次第に踏切が合わないために、障害飛越に不安を感じ始める可能性がある。学生レベルの人が調教を行う場合、障害の踏切を完全に合わせることは不可能であるため、速歩でのこのような練習を重視すること私は薦める。

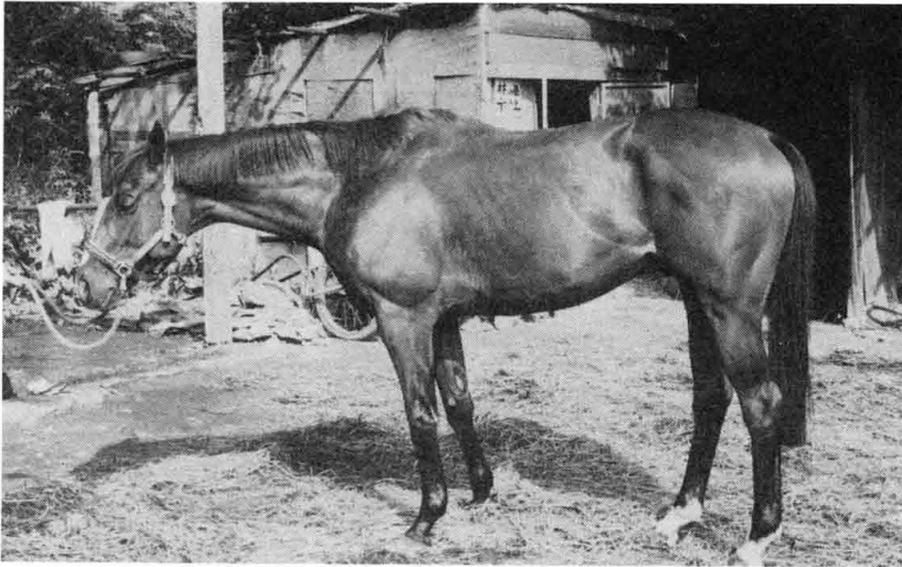
#### …競技会…

上に述べたことを馬がこなせるようになり、北大の馬場で経路回りなどを行った結果、競技会に出せるレベルであるなら、試合の前にその会場に馬を連れていき、馴致を行う必要がある。馴致は古馬と一緒にいき、目的はその場所の環境に慣れ、そこにある物障害を飛越することである。その方法は上に述べたのと同様である。そして、その馴致での内容から、目標としていた競技会に自分の馬が出場するレベルにあるのかを正しく判断する必要がある。その判断を誤り、競技会で馬を失権させてしまったら取り返しのつかないことになるからです。競技会では馬が興奮することを考慮し、落ち着かせるためにかなりの時間をかけて運動をすると良い。馬に余計な緊張感をなるべく与えないように普段通りに行い、そして経路走行をする。

#### …総括…

1つの調教方法として参考にして頂ければ幸いです。

## 北祥号 紹介



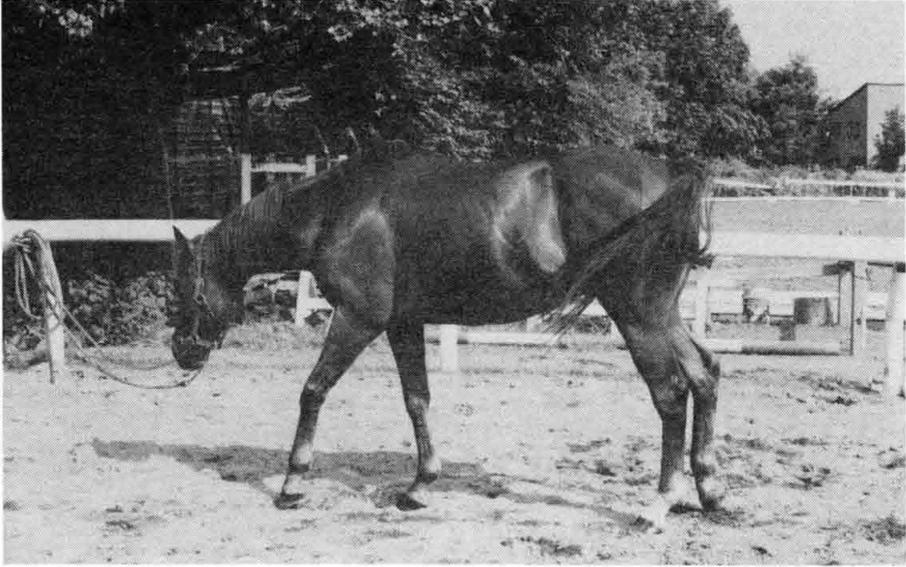
競走馬名はシンコウスピリット。愛称はスピ。競走馬時代はかなり活躍したらしく、重文でひき馬をしているとき、

「競馬で走っていたころからのファンだ」という人が会いに来たりもしました。某ゲームにもでてきたりします。

餌をあげると、指までパクッと食べてしまったり、つぶらな瞳をしていて、とてもかわいい馬です。能力的には抜群だといわれていますが、いつその才能を開花させ、全国にその勇姿を見せてくれるのでしょうか。

新馬の割にはおとなしく、いろいろ考えていそうなスピ。期待してるよ！

## 北獅号



### 北獅号調教報告

溝井 敦史

SHADYは平成6年12月に本城さんの御計らいによりJRA競馬学校から北大に入厩しました。北大に来る前に本城さんが乗っていたという事で変な癖もなく非常に乗りやすい馬でした。主に私が騎乗しましたので以下騎乗の際に考えていたことなどを述べます。

#### 〈障害に関して〉

障害に関しては、SHADYは非常に素直で、止まったりした事はほとんどなくとにかく馬の邪魔をしないことだけを考えて乗りました。私はあまり上手ではなかったのでM級クラスの障害は主に主将の鎗木が乗りましたが落下が多く、まだまだSHADYは高い障害に慣れていないと思います。

#### 〈野外に関して〉

野外に関しても特に問題はなく、とにかくたくさん馴致に行きました。また馬場においてもいろいろな障害を作って飛びました。特に気をつけた点はなるべく止まるSITUATIONを作らないようにし、初めての障害は他馬につけて飛んだりしました。

#### 〈馬場に関して〉

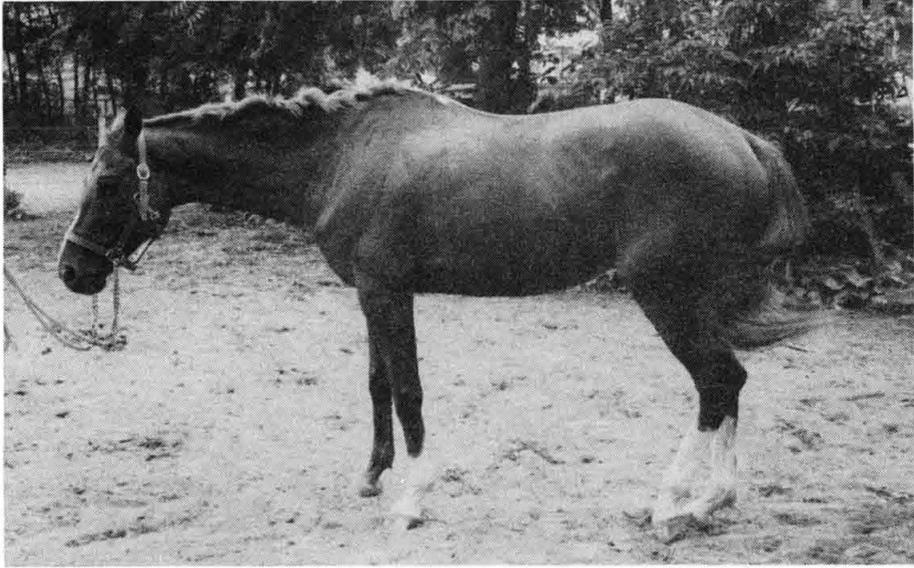
馬場に関して他馬に比べるとSHADYはあまり得意ではないようで、私も下手糞だったのでOBの方（主に鷺田さん、八木さん）に人馬共に見ていただきました。

以上騎乗の際に考えていたことを大まかに述べましたが、実はもっともつといろいろなことをやってきました。文章では書き切れないので、後輩の方でもつと私に聞きたいことがある人は私に直接聞いて下さい。

SHADYも北大にきて1年目で全日学総合で28位になり、いきなり主戦馬になってしまいましたが、今後の代の人々は調教を崩さないように更に上位を目指して下さい。上手に乗ればもっと上位に行けると思います。私は今、何とか変な癖を付けずに（と思うのですが）SHADYを次の代に渡せてホッとしています。

最後になりますが、ドンパを初めたくさんの方にお世話になりました。本当にありがとうございました。

## 新馬紹介



ピコーエオン号

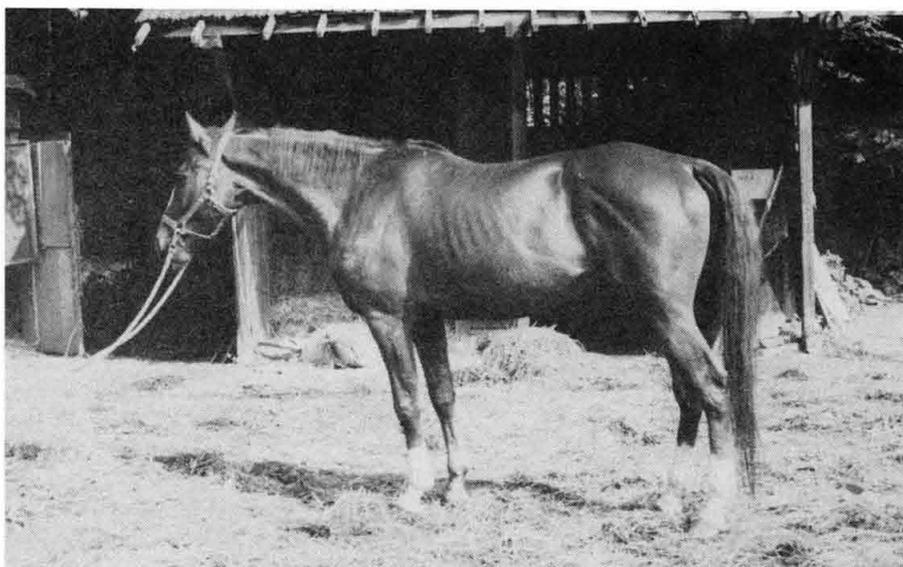
馬責 池田 智義

7月25日、札幌競馬場から、北大馬術部に入厩しました。

サラ、雄、栗毛、平成3年4月30日生。

競走馬時代は、1勝したが、左前屈腱炎のため引退、北大に来ることになりました。競馬場に引きとりにいって、初めて見た感想は、「かわいい子」でした。割と小柄で、目がパチクリしていて、鼻の先が少し右に曲がっています。馬運車に入るとき後退させながら入れてくれといわれて「変わった子だなあ。」と思いました。厩務員の方の話通り、大変おとなしくて、手間のかからない子です。甘えん坊ですが、興味のある物には、物おじせず、自分から近づいていくことから、「将来はきっと大物になるぞ。」と思いました。常歩での歩きっぷりもよく、後駆が深くふみこんでできます。新馬にありがちな、車を見て走るとか、小さな物音にびくつくというようなことはなく、割合にのんびり屋かなとも思います。競馬時代から調馬索を知っているので、調教もスムーズにいくものと信じています。これから1年間、黒崎兄に調教を依頼し、黒崎兄の下で、大きく成長し、やがては、国体や全日が入賞できる位のBigな馬になってくれると信じています。エオン君の新しい人生の出発に乾杯！！

## エアークラッシュ号 紹介



中京競馬場から入厩した、15歳の新馬です。新馬といっても、もちろん調教の進んだすごい馬です。

彼は名馬らしいです。らしいというのは、まだ1年生では、ただの重いわがまま馬で、上級生が感嘆するわけが分からないからです。

外乗に行けば草を食われ、駈歩をすれば輪乗りができず、常歩は重くて動かない……。でもその渋くてダンディーな顔や、北大には珍しい栃栗毛をみていると、きっといい馬なんだろうと思います。

もうだいぶ年をとって、愛想もないけれど、ひそかなファンの多いじいさんです。

「悟りきったようなその姿がたまらない。」というあるファンの言葉をつけくわえておきます。

## 北銀号 離厩報告



昭和58年の入厩以来、北大を担う馬としてがんばってきたギンですが、やはり年には勝てず、離厩することになりました。離厩先は浦河乗馬公園で、初心者練習などに使われることになりそうです。ぼーっとしているようにも見えるけれど、とても強く、放牧中は馬場の王者だったギン。とても重くて1年生が乗っても全く動かない、1年生泣かせの馬でしたが、気合が入るととても凛々しい姿で障害を飛んでいました。新たな場所で、またがんばってほしいと思います。

(この部報が出るころには、ギンは“シルバーストーン”という名前でオーフルホースコミュニティにいます。元気にやっているようです。)

北銀の離厩に際して、部報委員より北銀の思い出をかいてくれとの依頼があった。自慢から失態、後悔に至るまで思い出は尽きないのだが、恐らく自分の感傷に終始して、現役の参考になることはあまりないと思う。そこでせつかくなので離厩に携わった者としてそのいきさつと所感について、現役からの報告と重なるかもしれないが書いておこうと思う。

昨秋、中村主将より電話があり、北銀を離厩したいのだが引き取ってもらえるかとのことだった。彼の話によると北銀の引退後は高野さんが引き取ると先輩から聞いているとのこと。誰が言ったのかしらないが、そんな気はなかったので、その場は断わって話は終わった。それからしばらくしてからまた電話があり、離厩先が見つからなくて困っているという。引取りOKの返事もあるが、消極的な返事だとのこと。それならばと、屠場に出すことを勧めた。その馬が必要とされる、または喜んでもらってもらえるならば無条件でそこに出せばよい。しかし需要のないものをただ生かしておきたいという理由で無理にお願いして引き取ってもらっても、結局自分たちの自己満足、あるいはエゴでしかない。ミーティング等馬の生と死について正面から見て話し合うことも必要だと思う。私論ではあるが、馬術競技とはそういうものときりはなせないものと思う。そんな悲しい犠牲が積みまとうものなら乗馬なんてやれないと、特に一年生は思うかもしれないが、だからこそ続けるべきだと思う。多くの馬から恩恵を受けた人間は更に乗馬を続け、馬術競技を広め、馬文化を発展させてほしい。それが馬の需要を作りだし、広い目で見て馬に幸せをもたらすことだと僕は思っている。離厩先探しとは引取りをお願いすることではなく、どこかにある需要を探し出すことである。

さて北銀の件であるが、浦河乗馬クラブに打診したところ、丁度、初心者や障害者のためのおとなしい馬を探しているところであった。浦河乗馬クラブは国体の施設を乗馬公園として整備した町営クラブであるが、町民の乗馬だけでなく、観光乗馬や、障害者の乗馬リハビリも積極的に行っている。ヨーロッパではポピュラーな乗馬リハビリも、日本ではほとんど行っているところがなく、特に宣伝はしていないのだが、浦河乗馬クラブには全国の障害者施設から申込みがきているようである。北銀の場合、温かな性格から適当と思われたのだが、乗馬クラブではできるだけ小さい馬を希望していたため、体高170cmくらいある北銀については決断しかねていた。そこへ学生時代から北銀のことをよく評価してくれた酪農OBで現在浦川高校に勤める宮竹の強い推薦もあり、話が決まった。

北銀号 主な戦績

S 6 1.	5. 5	半澤杯	小障害	19位	陣川	
	7. 19~20	公認	小障害	16位	陣川	
	8. 8~11	北日学	M級C	4位	陣川	
	8. 23~24	道体	L級	3位	山本	
				31位	北川	
				39位	陣川	
	9. 6~7	親善大会	L級	25位	北川	
	11. 9	山下杯	L級	2位	高野	
	S 6 2.	5. 5	半澤杯	複合	9位	高野
		6. 27~28	自馬大	総合馬場	20位	高野
				M級C	3位	高野
3級馬場				5位	高野	
7. 18~19		公認	中障害	失権	高野	
			中障害選手権	失権	高野	
			中障害S & H	18位	高野	
			二走	7位	高野	
8. 7~9		北日学	総合	8位	高野	
			M級C	3位	北川	
			総合	失権	高野	
8. 30~31		道体	L級	11位	石川	
			二走	45位	高野	
10. 2~4	全日学 山下杯	M級C	1位	高野		
		L級	3位	湯浅		
		複合	5位	高野		
S 6 3.	5. 5	半澤杯	中障害	1位	高野	
			複合	5位	高野	
	5. 21~22	国体選考審査	M級B	10位	高野	
	6. 18~19	自馬大	L級	11位	福庄	
			M級C	15位	仲村	
	7. 16~17	公認	中障害	13位	高野	
			中障害選手権	失権	高野	
			L級	失権	島田	
	8. 5~8	北日	二走	1位	高野	
			総合	2位	高野	

	8. 20~21	国体	総合	8位	高野
			L級	8位	林
	9. 17~18	国体選考審査	総合馬場	8位	高野
	10. 9	山下杯	M級C	2位	仲村
	11. 1~2	全日	二走	15位	高野
			総合	12位	高野
H元年	5. 4	半澤杯	複合	5位	仲村
			中障害	3位	仲村
			小障害	4位	橋本
	6. 3~4	国体選考審査	標準障害	7位	仲村
			加サカトリ	1位	仲村
	24~25	離ハハル	総合	3位	仲村
	7. 8~9	国体選考審査	S&C	5位	仲村
	22~23	ノザカッパ	S&H	3位	仲村
			標準障害	12位	仲村
			コンプレッション	6位	仲村
	8. 4~7	北日	二走	6位	仲村
			総合	3位	仲村
	9. 29				
	~10.1	東日本	相應障害	8位	仲村
				29位	仲村
			選手権	25位	仲村
	11. 3~5	全日	二走	失権	仲村
			総合	失権	仲村
H2年	5. 5	半澤杯	複合	4位	林
			中障害	4位	林
	5. 20	NHPｽﾀｰｽﾞ	中級障害	12位	林
	6. 23	自馬大	3級課目	11位	林
			S&H	13位	林
			L級	11位	野田
			M級C	17位	林
	8. 8~12	北日	二走	11位	林
			総合	9位	林
	8. 25~26	道大	3級馬場	15位	祝前
			加サカトリ	失権	野田
	9. 16	馬場大	3級馬場	4位	外山

H 3 年	10. 10	山下杯	L級	7位	横山
	5. 4	半澤杯	複合	5位	横山
	6. 8~9	自馬大	M級C	失権	横山
			L級	失権	白石
	7. 13~14	公認	2課目	2位	横山
			L級	12位	横山
	8. 8~12	北日	二走		
			総合	1位	横山
	9. 7~8	麒麟杯	M級C	5位	横山
	10. 13	山下杯	L級	5位	八木
10. 20	馬場大	2課目	3位	横山	
12. 10~16	全日	総合	失権	横山	
H 4 年	5. 4	半澤杯	複合	5位	八木
			中障害	12位	八木
	5. 23~24	馬場大	2課目	15位	八木
			2課目	12位	八木
	6. 13~14	自馬大	M級C	失権	八木
			S & H	失権	八木
			2課目	12位	横幕
			M級C	ホ-フ	横幕
			S & H C	15位	横幕
	7. 18~19	公認	選手権	4位	横幕
			二走	失権	横幕
			総合	10位	横幕
			内国産	9位	八木
			S & H	失権	八木
	8. 6~10	北日	選手権	失権	八木
			障害	3位	八木
			障害	3位	八木
	8. 29~30	麒麟杯	障害	3位	八木
			障害	3位	八木
	9. 13	オ-マイホ-ス フェスティバル	障害	3位	八木
障害			3位	八木	
10. 10~11	ノ-ザンカップ	M級C	10位	八木	
		S & H C	8位	八木	
10. 18	山下杯	L級	失権	松原	
H 5 年	5. 4	半澤杯	複合	3位	八木
			中障害	12位	八木
	6. 12~13	自馬大	3課目	10位	八木
			M級C	16位	八木

			S & HC	18位	八木
	7. 17~18	公認	3 課目	8 位	八木
			M級C	28位	八木
			S & HC	失権	八木
	8. 5~9	北日	二走	失権	八木
			総合	17位	八木
H 6 年	5. 3~4	半澤杯	複合	7 位	黒崎
			3 課目	8 位	黒崎
			小障害		黒崎
		自馬大	3 課目	13位	黒崎
			L級	18位	黒崎
	8. 4~8	北日	二走	失権	黒崎
			総合	2 位	黒崎
		駒籠種	L級	5 位	黒崎
			S & H L	6 位	黒崎
			選手権	4 位	黒崎
	12. 7~12	全日	総合	失権	黒崎
H 7 年		半澤杯	複合	7 位	中村
			3 課目	5 位	中村
		馬場大	3 課目	17位	中村
		自馬大	3 課目	12位	中村
			L級	26位	中村
			L S & H	21位	中村
			選手権	5 位	中村
		北日	総合	馬体失権	

## 東京OB会だより

今年の冬は全国的に雪が多く、雪景色を眺めながら学生の頃のことを懐かしく思い出していたOBの方も多かったのではないのでしょうか。OBの皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。また、現役の諸君は人馬ともに全日学目指し、寒い中ががんばっていることと思います。

さて、今年度の東京OB会の活動をご報告いたします。

### I. 平成7年度活動報告

#### 1. 平成7年総会・新年会

平成7年2月19日（日）、ホテルエース高輪

出席者：OB16名

#### 2. 現役部員との懇親会

平成7年11月3日（金）、渋谷居酒屋鳥市

出席者：OB18名、市川部長、現役10名

#### 3. 平成8年総会・新年会

平成8年2月24日（土）、NHK青山荘

出席者：OB19名

#### 4. 現役への援助

現役からの要望により、乾燥機を援助することとなりました。乾燥機は、馬用のタオルや馬服などの乾燥に必要であり、また使用頻度も非常に高いということで、大形の乾燥機を購入しました。

東京OB会では、現役部員の活動を物心ともにできる限り援助していく所存であります。ご意見・ご要望がございましたらお知らせください。

### II. 事務局より

昨年より、事務局担当が平山氏より陣川に変わりました。現在事務局の運営は、事務局長を本村、事務局を陣川が担当し行っております。至らない点多く、東京OB会の皆様へはご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご協力により、昨年も幾つかの催しを行うことができました。今後も、関東在住OBの交流の場として、またOBと現役とのパイプ役としての機能を果たせるよう、この会を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

OB、現役を問わず、何かご要望等ございましたら、事務局までご連絡くだ

さい。また、関東方面へ転勤・就職された方、事務局からの連絡が届いていない方などおられましたらご一報ください。

最後に、若手のOBの方へ、最近若手のOBの方の会への参加が少なくなってきました。事務局としては非常にさびしく思っております。お忙しいこととは思いますが、東京OB会を同窓会の場として利用され、会を盛り立てて下さいますよう、よろしく願いいたします。

北大馬術部東京OB会  
会 長 東園 基文  
幹事長 樋口 正明  
事務局 本村、陣川

## 卒部にあたって

### 鶴見 直大

4年間、これまでつきあってきた馬21頭と様々な人に、様々な迷惑をかけてきた。いつの頃からか、自分がかけてきた迷惑は、結果が浄化してくれると考えるようになった。

・・・今、それは、はかない夢と変わっていった。

自分の中に、「おまえは悔いのないように精いっぱい過ごしてきた」と言ってくれる自分と「もっとできることがあったんじゃないか」という自分が入り混ざっている。

自分が後輩に伝えることができるのは悔しさだけです。4年たってから悔しい思いをするぐらいなら、今のうちにいろいろ悩んでまた悔しい思いをして下さい。

最後に岡田顧問、市川部長をはじめOBの皆様、迷惑のかけっ放しで卒部することをお許しください。

21頭の馬たち、本当にありがとう。

それから、一緒にやってきた同じ代の7人、面と向かって言うのも恥ずかしいので・・・本当にありがとう。

### 鏡木 照夫

この3年半は長いような短いような、これからこんな時間を過ごすことはないというときでした。振りかえってみると、1年のときは勝手なことばかりして上級生に迷惑をかけたことしか思い出せなく、問題児でした。2年になるとき、北遼の運動管理を船越姉が上について四苦八苦しなながらやっておりました。この時、はじめて馬の調教というものを実感し、これからは真面目にやらなくてはと思いました。そして、2年の9月から北皇子、1月からフライトの調教をやって、馬術のすばらしさを感じ、北大を強くしたいと思いました。3年の9月に最上級生となり、主将という役職につきました。はじめは、ゴタゴタしてしまって主将なんてやるもんじゃないと思いました。年明けの頃には自分たちでやっていくしかないと感じ、北日まではアツという間でした。主将になって苦労したこともありましたが、やりがいがあり、いろいろな団体、他大学の馬術部の人達とも仲良くなって、やっていてよかったと思いました。4年目の半年は短く、精一杯やっていたつもりだけど、もっとやっておけば良かったと思います。現役部員は、辛いことが多いと思うけど、こんな経験はこの部でしかできないので、精一杯やってほしいです。最後に、わがままな私を支えてくれた4年目のみんな、現役部員、いろいろ手伝ってくれたOBの方々どうもありがとうございました。

## 谷地 綾

「四年間ご苦勞様、お疲れさま。」  
追いコンで先輩方や後輩たちに労いの言葉をもらっても  
全然“卒部する”火感が湧かなかった  
ああ、終わったんだ、卒業するんだ  
頭で思ってみても、心で感じない  
楽しかった、辛かった、いろいろあったけど  
淋しくはない  
これから、新たな出発

私は“WONDURFULな”四年間を送ることができました。  
お世話になりました岡田監督、斎藤、市川両部長、OB諸兄姉、同期、後輩の皆さんに、  
心から御礼申し上げます。  
そして私が関わってきた全ての馬たちに、感謝の念を捧げます。

## 米家 直子

4年間の自分の過程を思い出すと、何も悔いはありません。

お世話になりました監督をはじめ、OBの皆さん本当にありがとうございました。数ある部の中で、馬術部を選んで良かったと本当に思っています。

## 河合 由枝

これからの自分に何ができるか、考えているところです。  
みなさん4年間お世話になりました。

## 溝井 敦史

終わってしまった。今振りかえってみるとなんだか別世界にいた気がする。  
確かに辛いときもあったけど、その分すごく充実した4年間だった。  
最後までやり通して本当によかったと、今つくづく思う。もうあんな体験ができないのか  
と思うと寂しくなるけど、いつまでも過去を懐かしんでいてもどうにもならない。  
さあ、あと2年間、普通の学生に戻って全力で卒業するか！！

## 保坂 晴美

何もかもがとろい私にとって、部での3年半はただただ遅れずついていくのに精いっぱい、大事なことを見失ってばかりいたように思う。結局、馬からも人からも貰う一方の3年半……。情けない限りだけど、私には馬を愛することしか人並みにできなかった。出も、その心くらは馬に……。後輩に残してこれた……。かなあ。

OBの皆様、部員の皆様、ホントにお世話になりました。どうもありがとうございました。

## \* 自己紹介・他己紹介 \*

### ◆ 4 年目

#### 鍋木 照夫

私は怠け者で気まぐれ屋です。学校ではいつも寝ていることで有名です。趣味は釣り、競馬、旅行、(パチンコ)で、行きたいと思ったときは、学校があっても行ってしまいます。部活でも、皆さんには迷惑をかけてきました。現役、4年目の方々すいませんでした。また、OBは生意気な奴と思ったでしょうが、根は悪い人間ではないので許してね。

☆ ☆ ☆

「どっちか選ばしやる。」

それは関西空港からのお土産のタオルでした。かわいげな飛行機が描かれたタオルはどれもこれもでしたが、苦悩の末、1枚を選びました。またあるときなどは深夜に鍋木兄に起こされた夢をみた僕の枕元には、お土産のお菓子が置かれていたのです。

このように常に僕達馬術部員のことを思っ下さっている鍋木兄は、旅立たれるそうです。行き先はわかりません。聞くところによると世界にはばたかれるそうです。その流暢な言葉が世界で通じますように。

#### 河合 由枝

河合さんは、フライトのチーフとしても、また、主務としても細かいことに気がつき、こなしていきます。騎乗姿も河合さんの性格が現れています。綺麗に正しく乗っています。下級生にたいしても、厳しく接して、時々怖いと思うこともあります。先輩として尊敬しています。

#### 米家 直子

大好きです。

☆ ☆ ☆

米家さんはすてきなひとです。

かっこよくて明るくて、美しい。

・・・と私は思うのですが、何人ものOBが、

「米家は変だ」「あいつはおかしい」と仰言います。

なんでだろう。最近少し、その意味が分かり始めてきた気がします。

## 鶴見 直大

21頭の馬達に感謝します。

よく御指導下さった岡田顧問、市川部長はじめOBの皆様、また松下さん、宮浦さん、鷺田さんに感謝します。

馬をよく診て下さった太田さんに感謝します。

飼料他多くのことにご尽力下さった長岡さん、中曽根さん、百瀬さんに感謝します。

よくついてきてくれた後輩に感謝します。

同じ代の7人に感謝します。

☆ ☆ ☆

鶴見さんは作業をしながら歌を歌う人です。春の大会のNHPからの帰りの時にも、夏の長岡さんの長沼温泉のなかでも、秋の代がわりコンパの2次会でも、冬の除雪機の運転の最中でも、いつでもゴダイゴのガンダラーを唄っています。僕はそんな鶴見兄が大好きです。

## 保坂 晴美

よくほちゃ、ほちゃと呼ばれ親しまれています。

また下級生の面倒見もよくほがらかな先輩です。

しかし、保坂姉と言えど何といてもトル(北旋風)のお母さん以外の何者でもありません。

## 溝井 敦史

《溝井さんへのはなむけのコトバ》

デューデューと溝井さんのコンビは最高でした。

この場で直接溝井さんに伝えられなかったことは残念ですが、溝井さんの貴重な最後の半年間にサブとしてつけたことを本当によかったと、よく今本と話しています。溝井さんがこの4年間で多くのものを得たのと同様、私も溝井さんから、そしてデューデューからいろいろなものを得た気がします。ありがとうございました。そして4年間ごころさまでした。

☆ ☆ ☆

全日の馴致のため、帯広に行ったときでした。拍友会で部班中にどなられた僕に向かって舞台の上で見ていた溝井兄が「がんばれ。」と声をかけてくれたのです。僕は、それからというもの溝井兄という壁にぶつかったときは、その一言だけを信じてついていったものです。

## 谷地 織

谷地さんは2つの顔を持っています。1つは豪快さ。この前谷地さんの車に乗ったんですけど、「私の前をとろとろ走ってんじゃねえ」てな感じで走っていました。本当にこわかったんですけど、もしかすると谷地さんは魚座なのでしょうか？いや実は星占いに書いてあったんですけど、魚座ってスピード狂なんです。まあそれは関係無いにしても谷地さん＝スピード狂はけっこうあてはまっているとおもいます。もうひとつは繊細さ。谷地さんは名前の通り繊細だと僕は思います。悲しいとき、つらいとき、くやしいとき、いつも谷地さんはぼろりと涙をこぼします。そんなとき、何か言うと傷つきそうになるぐらい繊細なのです。こうやって男心をゆさぶる谷地さんの魔力にかかった奴は、もうメロメロです。でもまたそれが谷地さんの魅力のひとつなのです。喜怒哀楽の激しい谷地さんはみんなの人気者です。

☆ ☆ ☆

愛しています。

## ◆ 3年目

北村 真矢（主務、理学部生物学科）

ぼけていくせに短気だ、とよく言われる。

いかなるときにも冷静にテキパキとこなすという私の目標と全く反対の評価に、ちょっとがっかりすることもある。

あと一年、少しでも近づけるように頑張ります。

☆ ☆ ☆

かおるさんは、コンパではよく元気にお酒を飲んでいきます。また食べ物には目がない？らしいです。

しかし、やるべきときにはしっかりやってくれるすばらしい先パイです。

中田 一糸己（馬匹、教養部）

栄光に向かって走る	この列車に乗っていこう
裸足のままで飛びだして	あの列車に乗っていこう

弱い者たちが夕暮れ	更に弱い者をたたく
その音が響き渡れば	ブルースは加速していく

見えない自由が欲しくて  
本当の声を聞かせておくれよ

見えない銃を撃ちまくる

ここは天国じゃないんだ  
いい奴ばかりじゃないけど

かといって地獄でもない  
悪い奴ばかりでもない

ロマンチックな星空に  
南風にゆられながら

あなたを抱きしめていたい  
シュールな夢をみていたい

見えない自由が欲しくて  
本当の声を聞かせておくれよ

見えない銃を撃ちまくる

TRAIN TRAIN 走っていく  
TRAIN TRAIN 走っていく

TRAIN TRAIN どこまでも  
TRAIN TRAIN どこまでも

世界中に定められた  
あなたが生きている今日は

どんな記念日なんかより  
どんなに素晴らしいだろう

世界中に建てられてる  
あなたが生きている今日は

どんな記念碑なんかより  
どんなに意味があるだろう

見えない自由が欲しくて  
本当の声を聞かせておくれよ

見えない銃を撃ちまくる

TRAIN TRAIN 走っていく  
TRAIN TRAIN 走っていく

TRAIN TRAIN どこまでも  
TRAIN TRAIN どこまでも

TRAIN TRAIN 走っていく  
TRAIN TRAIN 走っていく

TRAIN TRAIN どこまでも  
TRAIN TRAIN どこまでも

栄光に向かって走る  
ドシャ降りの痛みのなかを  
いやらしさも汚らしさも

あの列車に乗っていこう  
傘もささず走っていく  
むきだしにして走っていく

聖者になんてなれないよ  
だから僕は歌うんだよ

だけど生きているほうがいい  
精一杯でかい声で

見えない自由が欲しくて 見えない銃を撃ちまくる  
本当の声を聞かせておくれよ

TRAIN TRAIN 走っていく TRAIN TRAIN どこまでも  
TRAIN TRAIN 走っていく TRAIN TRAIN どこまでも

TRAIN TRAIN 走っていく TRAIN TRAIN どこまでも  
TRAIN TRAIN 走っていく TRAIN TRAIN どこまでも

☆ ☆

中田さんはとてもよい人です。いつも部員や馬、全員の事を考えてくれています。でも、あんまり考え過ぎてしまい、先走ってしまうので、みんなに誤解されるようなことを言ってしまう、はたからみていると、少しさみしくなってしまう。また、中田兄はとても心配症です。そのためやっぱり先走ってしまい、いろんな車を呼んで、いろいろ大変なことになっています。

「おまえさー、最近～だよなー。」といつもするどいつっこみをします。そこで自分の考えを言うと、「だからさー、～だろー？」と納得するまで議論してくれます。

馬匹としても、あまり目立たないけれど、陰ながらの支えを感じます。相談すると、ちょっとしたこと（わんこずれの対処法など）でも、真剣に一緒に考えてくれます。そんな中田兄をみんなでPushしましょう。

中村 晃史（主将、教養部）

大きな動物が好きだ。  
何かゾクゾクするんだ。

☆ ☆ ☆

兄は大変な動物好き。兄を思い浮かべるとき、まず、兄が馬に乗っている姿が、次に馬と遊んでいる姿が浮かぶ。（馬にちょっかいをだしている兄は幸せそうで、確かに心は少年なのだと、私の心を和ませるのであった。）

騎乗中の兄のかっこよさは当たり前のこととしておいて、実生活の兄は、はたしてどうなのか？兄はグルメらしい。どうやら自分で料理するらしく、調理器具や香辛料がそろっている。将来が楽しみ（？）だ。線が細く、割と無口な兄であるが、何故か目立つ。その存在感は、自然とにじみでるカリスマ、人柄によるのか、顔の笑みによるのか、はたまた別の理由なのかは不明である。

そんな兄に一睨みされると深く自分のいたらなさを反省する私でありました。

**丸山 悦男** (副将、工学部衛生工学科)

To be to be ten made to base. 今年はこの言葉通りおもいきっていきたいです。

☆ ☆ ☆

丸山さんは、ときどきこわいです。

なぜならば、丸山さんはときどきとりのようなめをしているからです。

突然、うおっ、と奇声を発して周囲の人間をびびらせてしまうブラジリアンの丸山さんですが、馬術への情熱、まわりへの気配りやムード作りに一生懸命な姿を見ていると、なかなかよい副将なのではないかと思えます。

でも、背中や腹をだして馬に乗るのはやめたほうがいいと思うぞ、まる。

**村田 拓二** (会計、理学部)

悔いの残らないよう、後数ヶ月気合いれます。

☆ ☆ ☆

体はごついが……。

村田兄がんばれ。

◆ 2年目

**池田 智義** (作業、教養部)

イケダデース ヨロシクネ

☆ ☆ ☆

SPEAK LARKの男。

池田兄はこの頃タバコの数が増えている。

目指すは抽選の腕時計。しかし、買ったほうが早いという話もある。

多分、池田兄の心境に何か変化があったのだろう。

道端でタバコを吸う池田兄を見るたびに胸をいためる日々が続く。

**亀山 慶** (飼料、教養部)

172cm 66kg B97 F26.5

性格：おんこう。女性的。

☆ ☆ ☆

亀山くんは目がくすんできたとか、オヤジ化してきたとか、飲むと下品になるだとかいろいろ言われていますが、そんなことはありません。ちょっと邪悪なことを考えてしまうから目に現れてしまっただけです。ちょっと恥知心が無くなってしまったから態度にだしてしまっただけです。ちょっとお酒が入るとHな本性が現れてしまっただけです。ね、亀山くん 大好きだよ。

北村 浩子（副務、獣医学部）

とりあえず日高合宿にいこうと思っているうちに1年目の夏は過ぎ、  
とりあえず東北戦にいこうと思っているうちに1年目の冬は過ぎ、  
とりあえず北日にいこうと思っているうちに2年目の夏は過ぎていった。  
じゃあ、今はとりあえず・・・  
ま、いいんじゃない？

☆ ☆ ☆

彼女の性格を一言で言うと、意志が強くてだらしないことが嫌いだということでしょうか。そのため、練習には緊張感と真剣さをもって、のぞむことができます。しかしそれだけではありません。厳しさの反面、やさしく微笑んで私たちを迎えてくれることもまあります。北玲のチーフでもある彼女は心から、北玲を可愛がっているようで、子供をなだめるような声で接しています。また獣医学部に移行して勉強のほうも大変なようですが、ときどきその知識を披露してくれることもあり、今後もその方面でも部を支えてくれることでしょう。文武双方にがんばっている彼女です。

## ◆ 1 年目

浅野 知弘（薬品衛生、法学部）

こんにちは。一年目の浅野です。ふと気付くとこの部にいてすでに半年以上がたっていました。この部で何か得られるものがあればと思っているのですが、このまま惰性で続いていくのでしょうか。いまひとつ気合が足りないのですがやる時はやろうと思っているので（本当？）よろしくお願いします。

☆ ☆ ☆

がんばってるけど空まわり。

## 今本 勢津（文化企画、農学部）

べつにとくに言うことはないです。

・・・そういう人です。

☆

☆

☆

今本は、強者である。新歓合宿後にはいつてきて、3年目を巻き込んで1人特別合宿をした女である。

上級生に対する態度を見ていても、「強い・・・」と思う。

そのパワーを生かして馬にも乗っていつてください。。

## 内海 志泉（馬具備品、農学部）

飲むと変になっちゃうけど、いつもは・・・やっぱりずれてます。

馬好きだし（特にギン！）、練習も頑張つていきたいし。

そんな私ですけど、どうぞよろしくお願ひ致します。

☆

☆

☆

内海は、何事にも一生懸命です。草刈りやひき馬、作業とにかく頑張つています。彼女が、特に頑張つているのはコンパの席である。とにかく、相手が上だろうが大爆発している。テンションの上がり下がり激しいけど、それだけ素直に生きてんだなあと思う。これからも、がんばれよ。

## 角堂 豪（作業、農学部）

この部に入った動機が不純だ。馬術講習会とき、馬に乗せてもらうには1000円払うか仮入部してただでのしてもらうかだった。そして、その時ただで乗ってもらうために仮入部し、そのままづるづると今日まで続いている。小学校の頃から続けたサッカーもできないし、毎朝はやく起きなきゃならないし、土、日も休めない。なぜ続けるのだろうか・・・。おそらく理由はひとつ、馬に乗って、馬を動かす楽しさを覚えたからだろう。これからくる長い冬をどうやって過ごしていくかが最近の悩みです。

☆

☆

☆

角堂は本当に変なやつだ。

なんかやたら関西弁だし（あたりまえだけど）、やけにニヤニヤするし。

そして人の話を聞いてないこともよくあるし。

おもいきり勘違いしたり。「何なのコイツ？」と思うことしばしば。

でもその不思議なカリスマ性を見ると、

「きつと1年目をひっぱていくんだらうなあ」と思う。頼むね。

## 小谷 友也 (馬具備品、理学部)

僕は従順な性格です。「ちい谷」「こた」「小谷」と呼ばれれば、同僚の言うことにも従います。その素直な性格でみんなに愛されています。今もひと仕事終えて、ほっと一息いれたところです。やれやれ。

あつ、誰かが呼んでます。……「小谷！」

☆

☆

ちえ、やることいっぱいあるやんけ。めんどうやな。誰か適当なやつおらへんかな。お！ちょうどいいとおおるやん。さっそく使ったろ。……「小谷！」

☆

☆

☆

シーズン中に比べると冬の小谷は表情豊かだ。-10℃以下の時の練習では、外乗で馬に乗っているため、ロボコと呼ばれている。とくに走っている姿はロボットのようだ。そんな寒い日々の中にも、少し暖かい日がある。その日の練習中、小谷の表情がまるで解凍されたかのようにほころぶ。そして、訳のわからないふっとんだことばをくちばしる。

また、彼はよく先輩にばしられる。たいていさわやかに「はい」といってやりこなすが、自分のやりたくないことは、さりげなくかわす。言い訳もさりげなくする。小谷の乾いた「はははは」という笑いが馬場中に響いているときは要注意だ。

小谷の口からほかの部員の話しを聞くことはめつたにない。しかし、何も見ていないかのような彼の態度は、彼なりにいろいろ考えた結果、接している態度なんだろうと思う。(違つかもしれないけど)小谷に「がんばりや。」と言われると、そうだな、明日もがんばろう、と元気になる。同じ代でのフォローも結構うまいと思う。練習中、馬に乗っているときでもいろいろ注意してくれる。

また、シーズンに入ると忙しくなってくるので、小谷は無表情になっていくかもしれない。でも新しい一年が入ってきて”先輩”になったらきつと、ちゃんと指導するしっかりした小谷さんになるんだろうと思う。

がんばれ、小谷。

## 貞安 一廣 (記録、水産学部)

最近の僕

僕は朝日新聞の「社説」と「天声人語」を読みはじめました。

朝4:00に起きています。

自転車で30分かけてかよっています。

馬場で馬に乗っています。

夜12:00までバイトをしています。

ブラックコーヒーを一日一杯のみます。

タバコをすいます。  
夢をみます。  
あこがれをもっています。  
肉体的につかれることもあります。  
精神的にもっとつかれることもあります。  
音楽をききます。  
授業をさぼります。  
きんちょうします。  
人生ワクワクします。  
生きてます。

☆ ☆ ☆

彼は一緒にいるとスケールの大きさを感じる人です。しかし彼はあまり一緒にいる機会が少ないです。しかし免許をとってこれからバリバリきてくれるでしょう。めざせ北水復活！  
！がんばれよ。

#### 田中 悟史（記録、理学部）

今日はとても寒い日です。  
暑さに弱く、寒さに弱く生存可能範囲が狭い。これから寒い中、車校に行ってまた延長させられるのだろうか。どんどん元気が無くなってくる。冬眠したくなるのは私だけではないはず・・・。  
私は、大学で数学を本気で勉強しようと思っていた。好きだから、おもしろいから。文字が並んでいると眠くなる。その点数学だとそうはならない。けど私は馬術部に入ってしまった。そのあとはご想像におまかせします。

☆ ☆ ☆

入部当初の彼は変なところで目立つ人だった。  
朝、主将の出席をとる声がむなしく響く。「田中・・・」  
そんな彼は、日高合宿後に生まれ変わった。真面目になったのだ。  
その変わり身は目をみはるものがあった。しかし、部で真面目になったしわよせが学業に及び、彼はヒマな2年目になってしまった。そして車にはまった。  
優しく、潔癖な心の持ち主である彼は、なかなかいい味をだしてきている。  
毎度長岡さん。おつかれさま。

## 谷口 智子（薬品衛生、法学部）

馬術部に入ってしまったからはや6ヶ月。

雪の降る季節までこの部にとどまっている自分に驚いている。ゴールデンウィーク明けに入部し、一週間後に新歓合宿。はじめは本当にわけもわからずに言われたことをやるだけで手一杯だった。

そして草刈りシーズン突入。

夏の部活の忙しさは、私の想像をはるかに越えていた。普通人の生活をしていた私も大分きたえられた。

北日学、全日学、その他の多くの試合や毎日の練習を通して自分なりに馬術に対する考え方が固まってきたように思う。まだまだ未熟者ではあるが、目的を持って馬に乗り、楽しみつつ技術の向上させていきたいと思う。

☆ ☆ ☆

とって女の子らしい人。彼女と一緒にいると、ほっとして、私もこうあらねば。とよく思います。

でも、ときどきかなりぶっとんで、「は？」とか思うこともしばしば。

でもそこがまた魅力的なのです。

あんなにか弱くて大丈夫？と周りは思うけど、がんばっているようですね。

## 角田 智（飼料、理学部）

昭和51年、訓路に生まれる。現在に至る。

☆ ☆ ☆

もしかしてオタク？ そんなことないよね。

☆ ☆ ☆

彼はおしゃれである。メットをかぶってしまえばみな同じなのに、毎朝丹念に髪型をセットしてくる。彼に言ってみると、それは違うらしい。彼なりのこだわりを感じる。こだわりを感じるのはコンパの次の日の練習の時もである。彼はゲロゲロしながら布団山からはいだして、装鞍だけして布団山へと戻っていく。私はその後姿に哀愁を感じる。

## 寺坂 育匡児（部報、法学部）

僕にとってコンパの席は重要なウエイトを占める。危険人物に捕まったが最後、開始3分でトイレいきである。自分の命のためにもSS撲滅を考える今日この頃。

☆ ☆ ☆

大の甘党の彼。朝、昼ヌキでもチョコだけは食べてるんでしょ。そんなんだから、骨が弱

くなっちゃうんだよ。S.S一杯でもつぶれちゃうし（関係ないか）。某先輩方も「かわいがりたくなる。」なんて言うほど、優しい雰囲気の彼だけど、優しいだけじゃなくてしんの強いところもあるよね。これからの変身を期待！

・・・もするけど、やっぱり今まで通り変わらないでほしい気がする。  
一緒に苦労した（よね？）者として、これからも見守ってるよ。

## 乗次 由美（部報、文学部）

自己紹介します。

私は毎日、誰よりも早く練習に来ていて、今まで無遅刻、無欠席です。どんな馬でも楽々と動かします。学校をサボることなく、予習、復習も熱心にやります。テストも楽々こなし成績はA11優です。

何をしても文句ひとつ言わず、誰よりも仕事が早いので、ドンパからは尊敬され、先輩からも一目置かれています。しかも女の子らしくおしとやかで、洗たく機をけることもありません。

これで自己紹介を終わります。

☆

☆

乗次の紹介を始めます。

乗次は喜怒哀楽がはっきりしている。悲しければ泣くし、楽しければ笑う。落ちこんだらドツボだけど、嬉しければハイテンション、素直です。途中で、疲れてしまわないように、そのままいてほしいと思います。

疲れたら、ケーキでも食べにいこう。

## 百瀬 悦子（文化企画、理学部）

すでにして問題児。

10代最後の日の夕日を、長岡さんちのさとうだいこん畑の真ん中で見た女。  
できれば”モモセ”と書かないでほしいと思っている今日この頃。

☆

☆

☆

ときどき、というかいつもテンションが高いなあ・・・と思う。

でも、その明るさでまわりも明るくなります。

先輩には、「ももたろう」なんて呼ばれてたりもします。たまに。

いつまでもその明るさを大事にね。

## 乗馬用品から鞆、各種革製品まで…ショールーム OPEN

ソメスサドル株式会社は 1964 年の創業以来一貫して馬具造りに取組んで来ました。  
ヨーロッパで高く評価された技術力をベースに現在では我国唯一の馬具メーカーとして馬具のみならず、バッグからカバン、小物まで皆様に御愛顧頂いております。

ソメス砂川  
北海道砂川市北光 237-6 TEL.(0125)53-5111 FAX.(0125)53-5555  
ショールーム&ショップ  
営業時間● AM 10:00~PM 6:00 ●年中無休で営業しています



本社●北海道歌志内市神威 264 番地  
TEL.(0125)(代)42-2152 FAX.(0125)42-6716  
東京営業所●東京都台東区浅草橋 5-12-6 明治堂ビル  
TEL.(03)(代)3866-2131 FAX.(03)3863-4652

1964 年創設

# ソメスサドル株式会社

### <広告主への感謝の言葉>

この度、平成 7 年度北大馬術部部報発行に際し絶大なる御援助をいただきました諸社、諸店に対し、厚く御礼申し上げるとともに、諸社、諸店の御繁栄を祈り、ここに深く感謝致します。

## 編集後記

本来ならばもう2年前には出ているはずの41号部報が、今やっと出ることになりました。私たち編集委員が1年生のころのクラブ状況を伝えるものであるため、現在の状況とはあまりに異和感があることと思います。早くから原稿をいただいていた方々には本当にお詫びのしようもありません。

また、私たちの至らなさのために、いくつかの原稿が結局載せられないこととなってしまいました。申し訳ありません。

今後はこのようなことがないように、部報編集には力をいれていきたいと思っております。どうか皆様方には暖かい目で見守っていただきと思います。一層のご指導御鞭撻のほどよろしくお願い致します。

編集者 寺坂 乗次

### 音信 第41号

平成10年7月 発行

発行者 北海道大学馬術部

札幌市北区北17条西7丁目

北大体育会内

TEL(011)716-2111 内線5597

(011)737-1626 (直通)

編集者 部報編集委員

印刷所 北大印刷

